



# 横断図 S=1:200 (18-2)

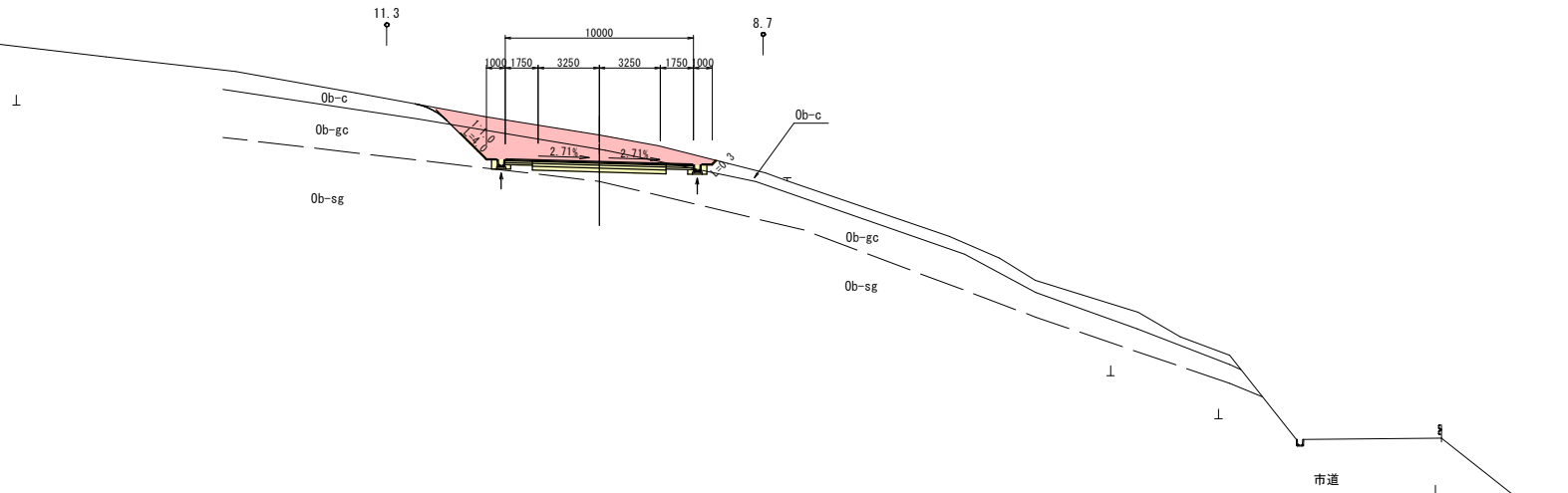
今回施工

NO. 123	砂質土	粘性土	硬質土
切片 切	-	-	-
取 取	20.1	-	-
人 力	-	-	-
機 械	4.3	-	-
W < 2	-	-	-
W > 2	-	-	-
A: W2 ≥ 4	-	-	-
B: W1 ≥ 4, W2 < 1	-	-	-
C: 1 ≤ W1 < 4, W2 < 1	-	-	-
D: W1 < 1, W2 < 1	-	-	-
小規模	-	-	-
盛土	W < 2.5	2.5 ≤ W < 4	4以上
路体	-	-	-
敷外	土羽土	表土	客土 購入土
切土	人力	機械	4.3
盛土	人力	機械	29.6
補生基材吹付工	-	人工強化工	-
法保工	-	法保工	2.0
舗装工	7.1	3.9	31.8
路盤工	7.1	3.9	-
置換工	切土	盛土	-
不陸修正	-	-	-
基面修正	1.0	A s 舗装破砕	-

NO. 123	砂質土	粘性土	硬質土
切片 切	2.5	-	-
取 取	22.3	-	-
人 力	-	-	-
機 械	0.5	-	-
W < 2	-	-	-
W > 2	-	-	-
A: W2 ≥ 4	-	-	-
B: W1 ≥ 4, W2 < 1	-	-	-
C: 1 ≤ W1 < 4, W2 < 1	-	-	-
D: W1 < 1, W2 < 1	0.4	-	-
転圧なし	-	-	-
盛土	W < 2.5	2.5 ≤ W < 4	4以上
路体	-	-	-
敷外	土羽土	表土	客土 購入土
切土	人力	機械	4.3
盛土	人力	機械	29.6
補生基材吹付工	2.0	人工強化工	-
法保工	2.3	法保工	-
舗装工	7.1	2.9	7.1
路盤工	7.1	2.9	-
置換工	切土	盛土	-
不陸修正	10.0	-	-
基面修正	1.0	A s 舗装破砕	-

施工起点: No. 122+15.6

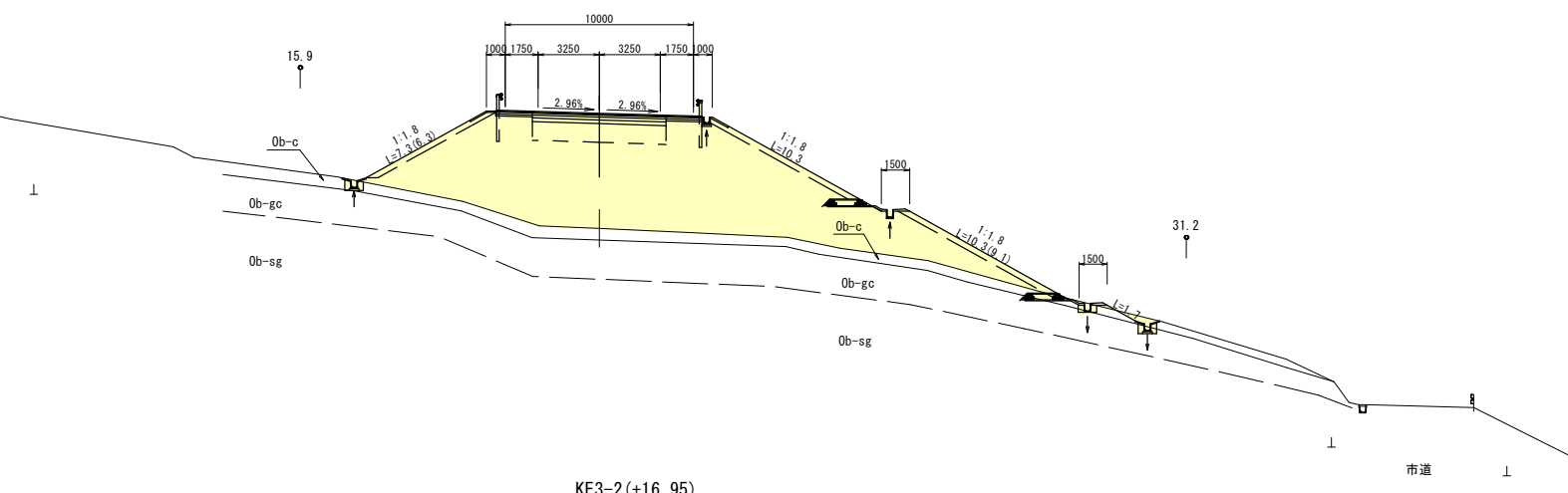
NO. 123  
GH=90.93  
FH=89.51



DL=80.00

NO. 122	砂質土	粘性土	硬質土
切片 切	1.3	-	-
取 取	-	-	-
人 力	-	-	-
機 械	1.6	-	-
W < 2	-	-	-
W > 2	-	-	-
A: W2 ≥ 4	-	-	-
B: W1 ≥ 4, W2 < 1	-	-	-
C: 1 ≤ W1 < 4, W2 < 1	-	-	-
D: W1 < 1, W2 < 1	0.8	-	-
転圧なし	-	-	-
盛土	W < 2.5	2.5 ≤ W < 4	4以上
路体	2.6	6.7	109.7
敷外	土羽土	表土	客土 購入土
切土	人力	機械	29.6
盛土	人力	機械	29.6
補生基材吹付工	-	人工強化工	26.4
法保工	-	法保工	2.0
舗装工	7.1	3.9	7.1
路盤工	7.1	3.9	-
置換工	切土	盛土	-
不陸修正	-	-	-
基面修正	1.4	A s 舗装破砕	-

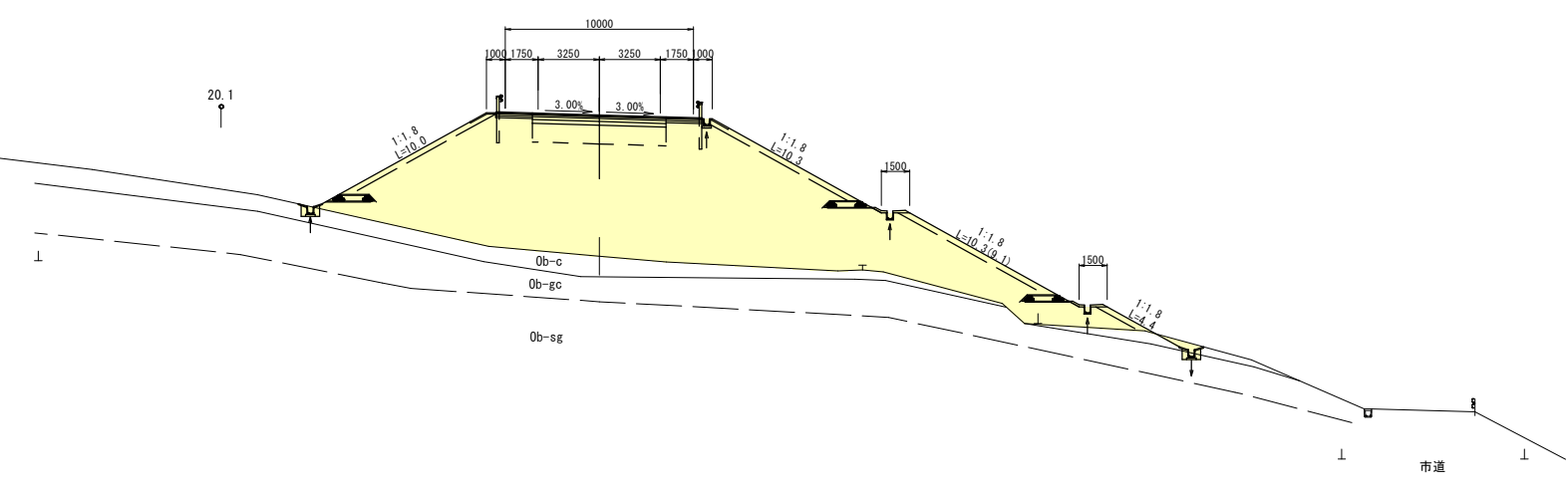
NO. 122  
GH=84.39  
FH=90.51



DL=80.00

KE3-2(+16.95)	砂質土	粘性土	硬質土
切片 切	0.4	-	-
取 取	-	-	-
人 力	-	-	-
機 械	1.2	-	-
W < 2	-	-	-
W > 2	-	-	-
A: W2 ≥ 4	-	-	-
B: W1 ≥ 4, W2 < 1	-	-	-
C: 1 ≤ W1 < 4, W2 < 1	-	-	-
D: W1 < 1, W2 < 1	0.6	-	-
転圧なし	-	-	-
盛土	W < 2.5	2.5 ≤ W < 4	4以上
路体	1.0	5.4	170.3
敷外	土羽土	表土	客土 購入土
切土	人力	機械	35.0
盛土	人力	機械	35.0
補生基材吹付工	-	人工強化工	31.8
法保工	-	法保工	2.0
舗装工	7.1	3.9	7.1
路盤工	7.1	3.9	-
置換工	切土	盛土	-
不陸修正	-	-	-
基面修正	1.0	A s 舗装破砕	-

KE3-2(+16.95)  
GH=83.14  
FH=90.66



DL=80.00

地質凡例

地質時代	地層名	土質・岩質	記号	N値(回)	記述
現世	盛土	礫混じり粘性土	B	0~2	現市道の切盛部で、シルト・粘土主体で構成される。
	崩積土 (渓床堆積物)	礫混じり土	dt	11	渓床堆積物をまとめて礫混じり土とした。部分的に玉石が点在し、粘性土の分布も確認される。
	沖積層 (河川堆積物)	礫混じり土	rd	10	河川及びその周辺に分布する。部分的に玉石が点在する。浸透帯では粘性土主体である。
新第三世	粘性土	粘性土	Ob-c	-	小原層の強風化部でシルト・粘土で構成される。表土を含む。
	小原層 (高位段丘堆積物)	礫混じり砂質土 (くさり礫)	Ob-s	4~17	風化度の大半は指圧で濡れ砂質土状になる。小原層の風化部で細砂~中砂主体である。
第四世	礫混じり粘性土	礫混じり粘性土	Ob-gc	12~16	主にシルト・粘土で構成され、色調変化が著しい。
	粘土混じり砂礫	粘土混じり砂礫	Ob-sg	14~50以上	やや新鮮~新鮮な礫層から構成される。局部的に固結土をレンズ状に挟む。
	固結粘土	固結粘土	Ob-cc	11~50以上	シルト・粘土で構成され、硬さを失う。
代紀世	先加久藤火砕流堆積物	風化溶結凝灰岩	wWt	26~32	Bor. 3-6で確認され、岩芯まで風化し固結土状を呈する。測点NO. 111+10の沢部の浸透帯に確認される。岩層区分はD級に相当する。
		溶結凝灰岩	Wt	2~50以上	Bor. 2-11で確認され、全体に風化質を受け軟質である。局部的に強風化部を介在する。岩層区分はD~C級に相当する。

注) 盛土区間は段切りを施し現地盤との密着を図り、滑動防止に努めること。

## 実施設計図

KE3-2(+16.95) ~ NO. 123

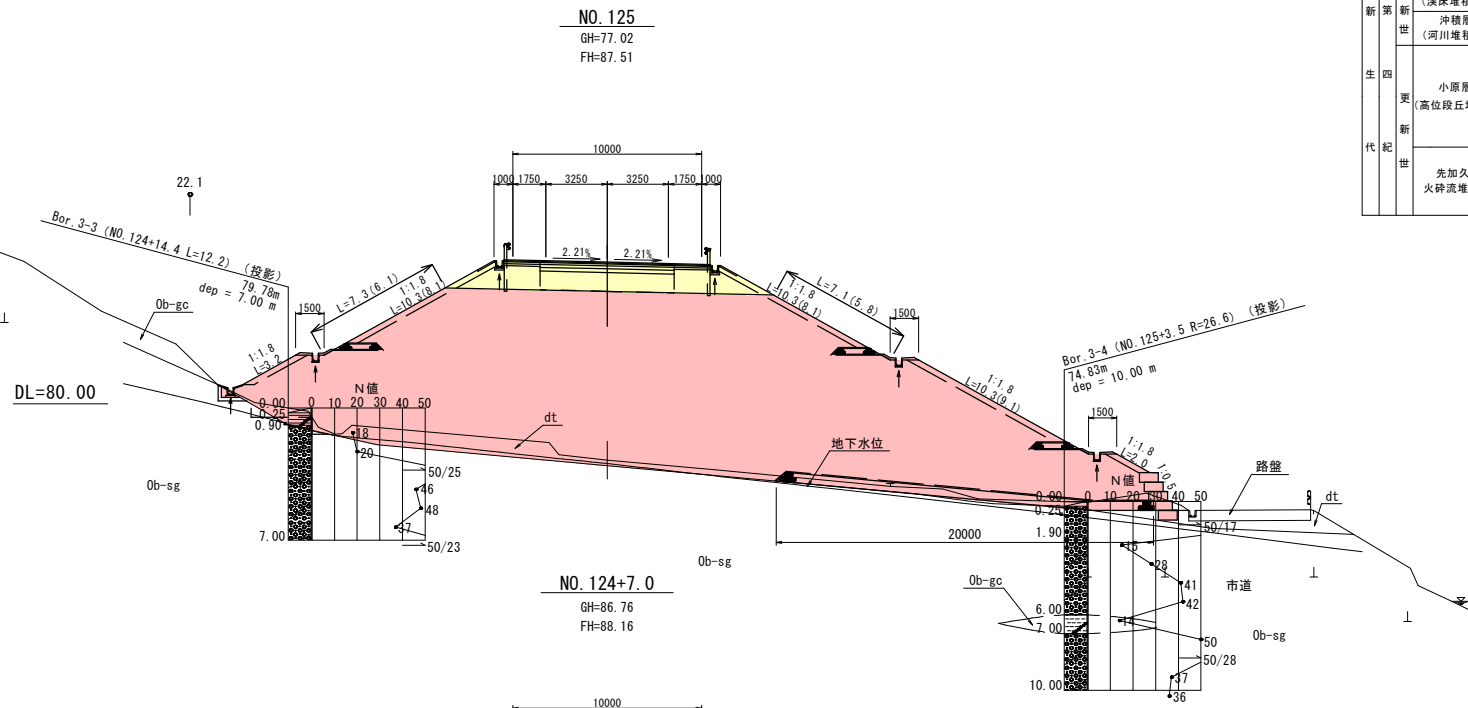
鹿 児 島 県	
工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R0-3区)
路線名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	横断図 (2/18)
縮尺	S=1:200
図面番号	全 葉 第 号

# 横断図 S=1:200 (18-3)

今回施工

NO. 125	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	-	-
取	オープン	25.6	-
床掘	小規模	-	0.3
	大規模	-	-
埋戻	A: W $\geq$ 4	-	-
	B: W $\geq$ 4, W $<$ 1	-	-
	C: 1 $\leq$ W $<$ 4, W $<$ 1	-	-
	D: W $<$ 1, W $<$ 1	-	-
小規模	-	-	0.2
盛土	W $<$ 2.5	2.5 $\leq$ W $<$ 4	4 $\Phi$
路体	-	-	319.1
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	-
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	29.9
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
法面整形	法面保護工	-	法面保護工
法面整形	基礎修正	0.5	A $\Phi$ 舗装破砕

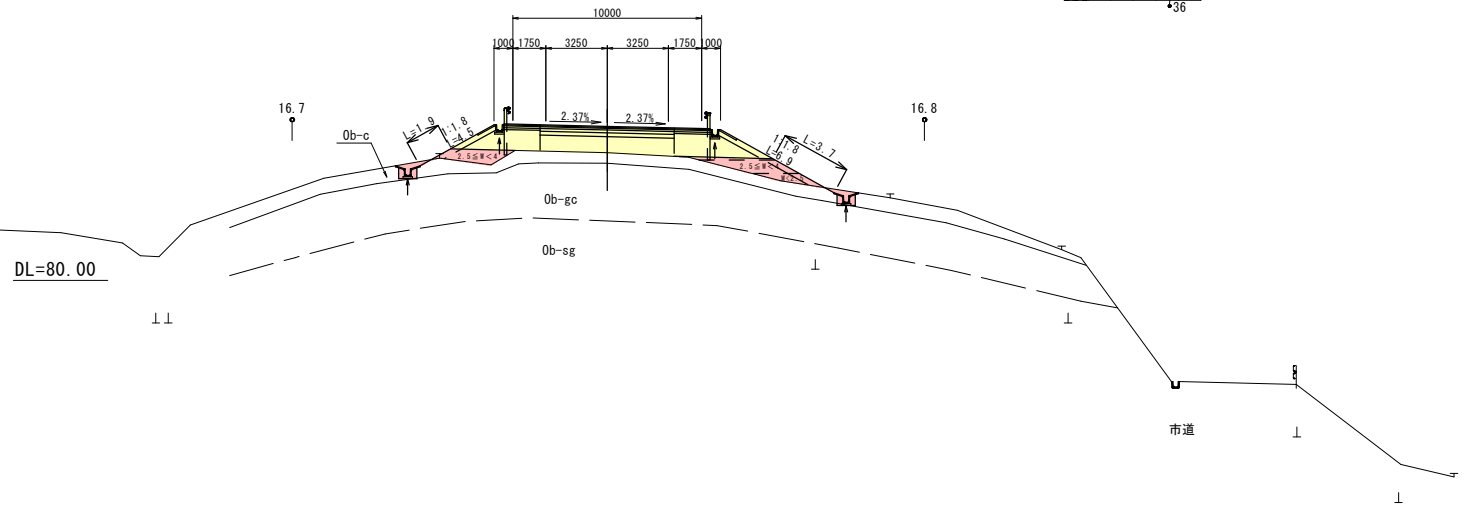
NO. 125	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	-	-
取	オープン	25.6	-
床掘	小規模	-	0.3
	大規模	-	-
埋戻	A: W $\geq$ 4	-	-
	B: W $\geq$ 4, W $<$ 1	-	-
	C: 1 $\leq$ W $<$ 4, W $<$ 1	-	-
	D: W $<$ 1, W $<$ 1	0.2	-
小規模	-	-	-
盛土	W $<$ 2.5	2.5 $\leq$ W $<$ 4	4 $\Phi$
路体	4.8	4.8	312.1
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	-
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	36.1
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
法面整形	法面保護工	-	法面保護工
法面整形	基礎修正	0.5	A $\Phi$ 舗装破砕



今回施工

NO. 124+7.0	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	0.4	-
取	オープン	-	-
床掘	小規模	1.4	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W $\geq$ 4	-	-
	B: W $\geq$ 4, W $<$ 1	-	-
	C: 1 $\leq$ W $<$ 4, W $<$ 1	-	-
	D: W $<$ 1, W $<$ 1	-	-
小規模	-	-	0.6
盛土	W $<$ 2.5	2.5 $\leq$ W $<$ 4	4 $\Phi$
路体	1.1	4.6	0.5
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	-
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	5.6
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
法面整形	法面保護工	-	法面保護工
法面整形	基礎修正	1.0	A $\Phi$ 舗装破砕

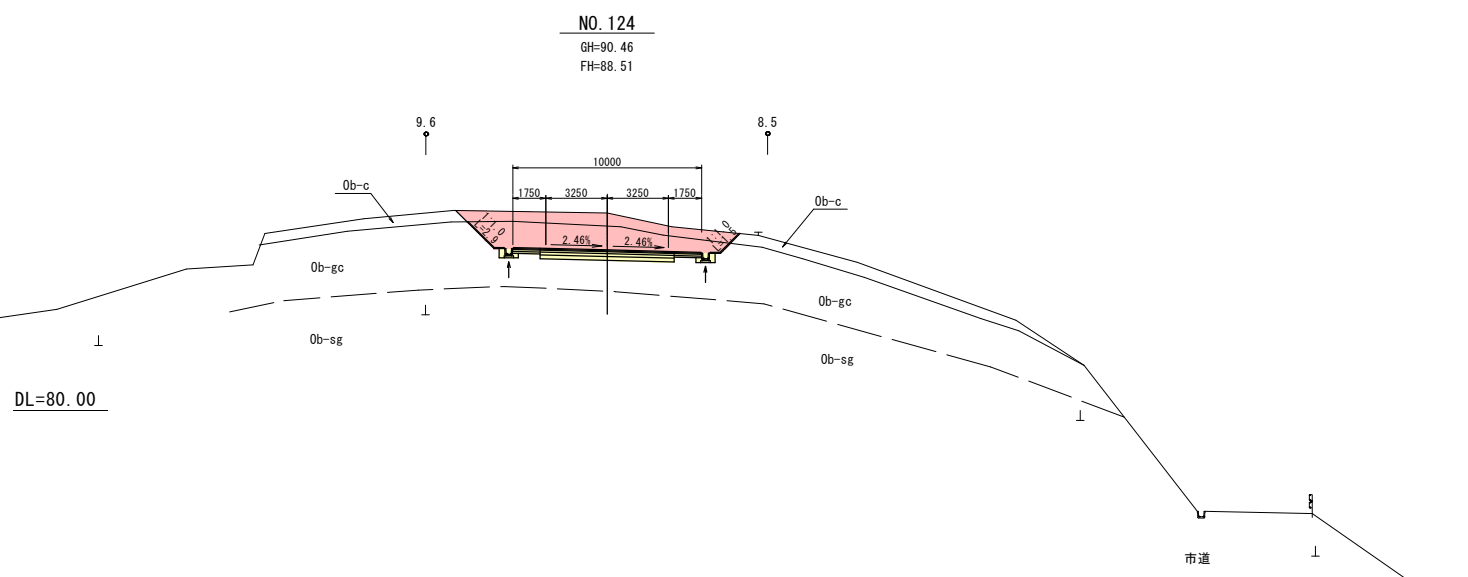
NO. 124+7.0	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	0.4	-
取	オープン	-	-
床掘	小規模	1.4	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W $\geq$ 4	-	-
	B: W $\geq$ 4, W $<$ 1	-	-
	C: 1 $\leq$ W $<$ 4, W $<$ 1	-	-
	D: W $<$ 1, W $<$ 1	0.6	-
小規模	-	-	-
盛土	W $<$ 2.5	2.5 $\leq$ W $<$ 4	4 $\Phi$
路体	2.7	6.0	1.6
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	-
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	11.4
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
法面整形	法面保護工	-	法面保護工
法面整形	基礎修正	1.0	A $\Phi$ 舗装破砕



今回施工

NO. 124	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	-	-
取	オープン	23.5	-
床掘	小規模	-	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W $\geq$ 4	-	-
	B: W $\geq$ 4, W $<$ 1	-	-
	C: 1 $\leq$ W $<$ 4, W $<$ 1	-	-
	D: W $<$ 1, W $<$ 1	-	-
小規模	-	-	-
盛土	W $<$ 2.5	2.5 $\leq$ W $<$ 4	4 $\Phi$
路体	-	-	-
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	4.4
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	-
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
法面整形	法面保護工	-	法面保護工
法面整形	基礎修正	-	A $\Phi$ 舗装破砕

NO. 124	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	-	-
取	オープン	28.1	-
床掘	小規模	-	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W $\geq$ 4	-	-
	B: W $\geq$ 4, W $<$ 1	-	-
	C: 1 $\leq$ W $<$ 4, W $<$ 1	-	-
	D: W $<$ 1, W $<$ 1	0.4	-
小規模	-	-	-
盛土	W $<$ 2.5	2.5 $\leq$ W $<$ 4	4 $\Phi$
路体	-	-	-
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	4.4
法面整形	切土	人力	-
	盛土	機械	-
法面整形	養生基材吹付工	0.9	人工強化工
法面整形	法面保護工	3.5	法面保護工
法面整形	基礎修正	1.0	A $\Phi$ 舗装破砕



地質時代	地層名	土質・岩質	記号	N値(回)	記事
現世	盛土	礫混じり粘性土	B	0~2	現市道の切取部で、シルト・粘土主体で構成される。
	崩壊土(河川堆積物)	礫混じり土	dt	11	河川堆積物をまとめた礫混じり土とした。部分的に玉石が点在し、粘性土の分布も確認される。
新第三世	沖積層(河川堆積物)	礫混じり土	rd	10	河川及びその周辺に分布する。部分的に玉石が点在する。浸透層では粘性土主体である。
	小原層	粘性土	Ob-c	-	小原層の強風化部でシルト・粘土で構成される。表土を含む。
第四世	高位段丘堆積物	礫混じり砂質土(くさり礫)	Ob-s	4~17	風化層の大半は粗粒で混れ砂質土状になる。小原層の風化部で細砂~中砂主体である。
	先加久藤火砕流堆積物	風化溶結凝灰岩	wWt	26~32	Bor. 3-6で確認され、岩芯まで風化し固結土状を呈する。測点NO. 111+100の深部の浸透層に確認される。岩層区分はD級に相当する。
代紀世		風化溶結凝灰岩	wWt	26~32	Bor. 3-6で確認され、岩芯まで風化し固結土状を呈する。測点NO. 111+100の深部の浸透層に確認される。岩層区分はD級に相当する。
		溶結凝灰岩	Wt	2~50以上	Bor. 2-11で確認され、全体に風化岩質を受け軟弱である。局部的に強風化部を介在する。岩層区分はD級に相当する。

注) 盛土区間は段切りを施し現地盤との密着を図り、滑动防止に努めること。

## 実施設計図

NO. 124~NO. 125

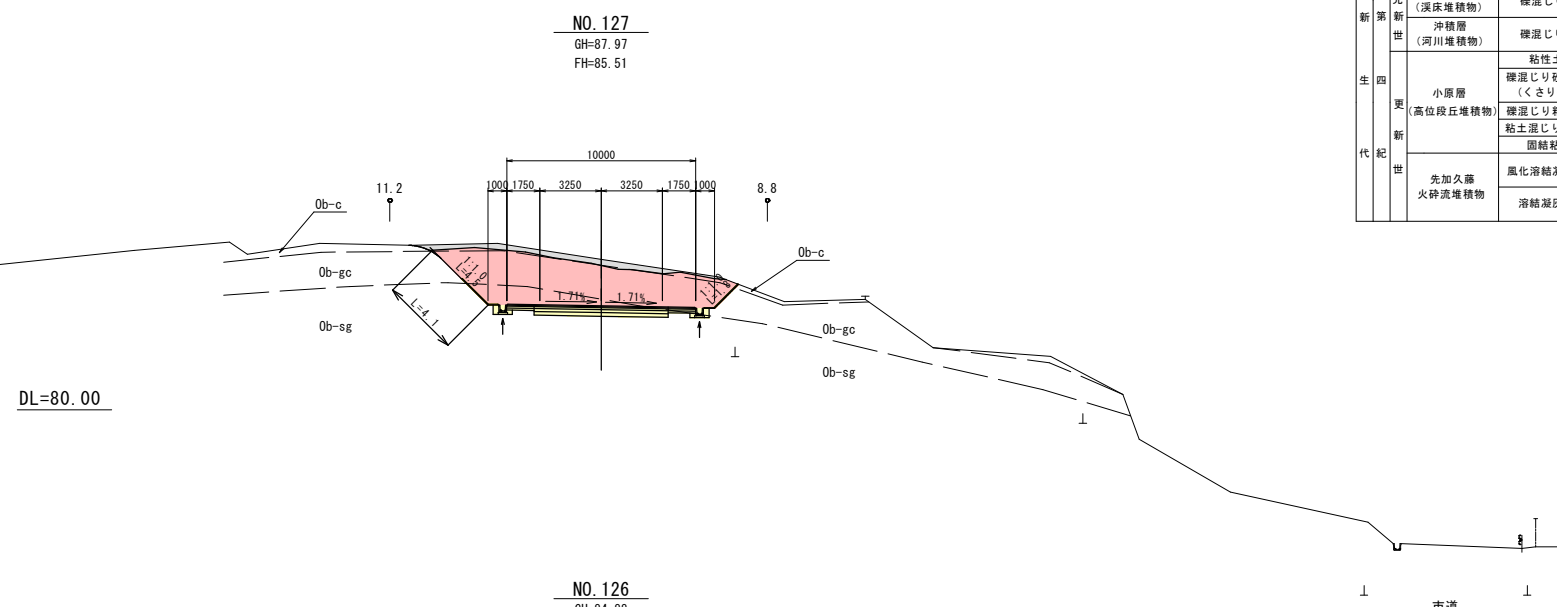
鹿 児 島 県	
工事名	道路改築工事(阿久根高尾野道路R0-3区)
路線名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	横断図 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">3/18</span>
縮尺	S=1:200
図面番号	全 葉 第 号

# 横断図 S=1:200 (18-4)

今回施工

NO. 127	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	-	-
オープン	-	26.7	6.1
床掘	小規模	-	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W <sub>2</sub> ≥ 4	-	-
	B: W <sub>1</sub> ≥ 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-
	C: 1 ≤ W <sub>1</sub> < 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-
	D: W <sub>1</sub> < 1, W <sub>2</sub> < 1	-	-
盛土	W <sub>2</sub> ≤ 2.5	2.5 ≤ W <sub>2</sub> < 4	4層
路体	-	-	-
法面整形	人力	-	-
	機械	5.9	-
法面整形	人力	-	-
	機械	-	-
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
	法面保護工	-	法面保護工
基面整正	1.0	A s 舗装破砕	-

NO. 127	砂質土	粘性土	礫質土	表土
切取	片切	-	-	-
オープン	-	31.1	10.2	9.8
床掘	小規模	-	-	-
	大規模	-	0.5	-
埋戻	A: W <sub>2</sub> ≥ 4	-	-	-
	B: W <sub>1</sub> ≥ 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-	-
	C: 1 ≤ W <sub>1</sub> < 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-	-
	D: W <sub>1</sub> < 1, W <sub>2</sub> < 1	0.4	-	-
盛土	W <sub>2</sub> ≤ 2.5	2.5 ≤ W <sub>2</sub> < 4	4層	-
路体	-	-	-	-
法面整形	人力	-	-	-
	機械	6.3	-	-
法面整形	人力	-	-	-
	機械	-	-	-
法面整形	養生基材吹付工	2.5	人工強化工	-
	法面保護工	3.8	法面保護工	-
車道路肩	-	-	-	-
養生工	7.1	2.9	-	-
養生工	7.1	2.9	-	-
養生工	切土	-	盛土	-
基面整正	10.0	-	-	-
基面整正	1.0	A s 舗装破砕	-	-



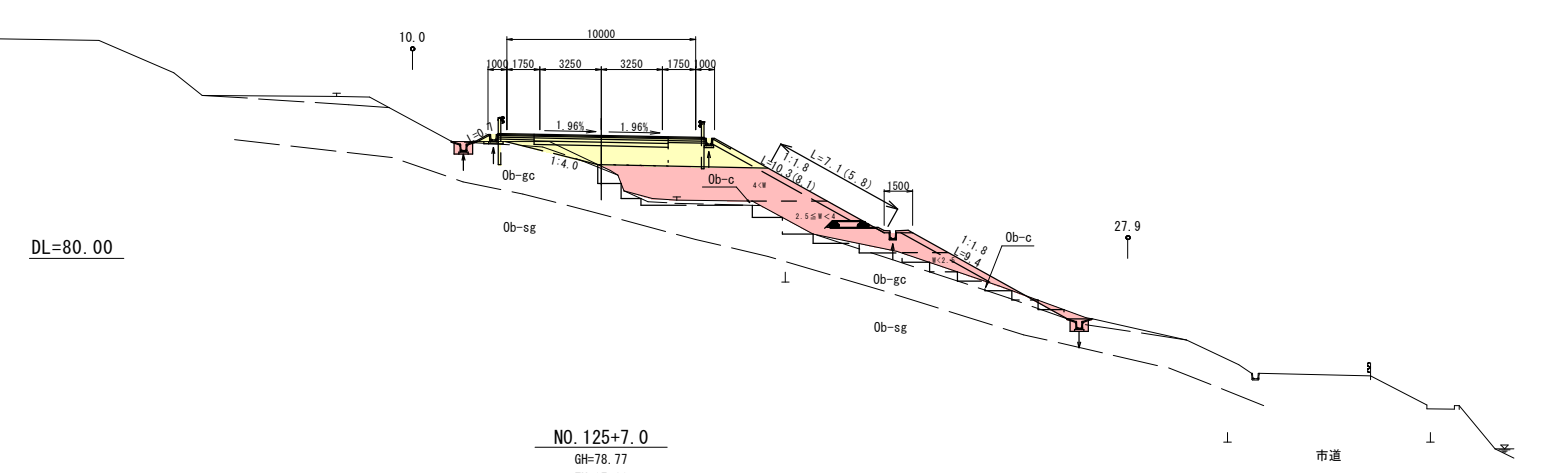
地質凡例

地質時代	地層名	土質・岩質	記号	N値(回)	記事
現世	盛土	礫混じり粘性土	B	0~2	現市道の切取部で、シルト・粘土主体で構成される。
	崩積土(河川堆積物)	礫混じり土	dt	11	河川堆積物をまとめた礫混じり土とした。部分的に玉石が点在し、粘性土の分布も確認される。
新第三世	沖積層(河川堆積物)	礫混じり土	rd	10	河川及びその周辺に分布する。部分的に玉石が点在する。浸透層では粘性土主体である。
	沖積層	粘性土	Ob-c	-	小規模の強風化部でシルト・粘土で構成される。表土を含む。
第四世	小原層	礫混じり砂質土(くさり層)	Ob-s	4~17	風化度の大半は指圧で濡れ砂質土状になる。小規模の風化部で細砂~中砂主体である。
	高位段丘堆積物	礫混じり粘性土	Ob-gc	12~16	主にシルト・粘土で構成され、色調変化が著しい。
代紀世	高位段丘堆積物	粘土混じり砂礫	Ob-sg	14~50以上	シルト・粘土で構成され、硬さを示す。
	高位段丘堆積物	固結粘土	Ob-cc	11~50以上	やや新鮮~新鮮な硬層から構成される。局部的に固結土をレンズ状に挟む。
	先加久藤火砕流堆積物	風化溶結凝灰岩	wWt	26~32	Bor. 3-6で確認され、岩芯まで風化し固結土状を呈する。測点NO. 111+100の深部の浸透層に確認される。岩層区分はD級に相当する。
		溶結凝灰岩	Wt	2~50以上	Bor. 2-11で確認され、全体に風化変質を受け軟質である。局部的に強風化部を介在する。岩層区分はDL~DLに相当する。

今回施工

NO. 126	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	2.1	-
オープン	-	-	-
床掘	小規模	1.5	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W <sub>2</sub> ≥ 4	-	-
	B: W <sub>1</sub> ≥ 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-
	C: 1 ≤ W <sub>1</sub> < 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-
	D: W <sub>1</sub> < 1, W <sub>2</sub> < 1	-	-
盛土	W <sub>2</sub> ≤ 2.5	2.5 ≤ W <sub>2</sub> < 4	4層
路体	2.8	10.0	16.5
法面整形	人力	-	-
	機械	-	-
法面整形	人力	-	-
	機械	16.5	-
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
	法面保護工	-	法面保護工
基面整正	1.0	A s 舗装破砕	15.2

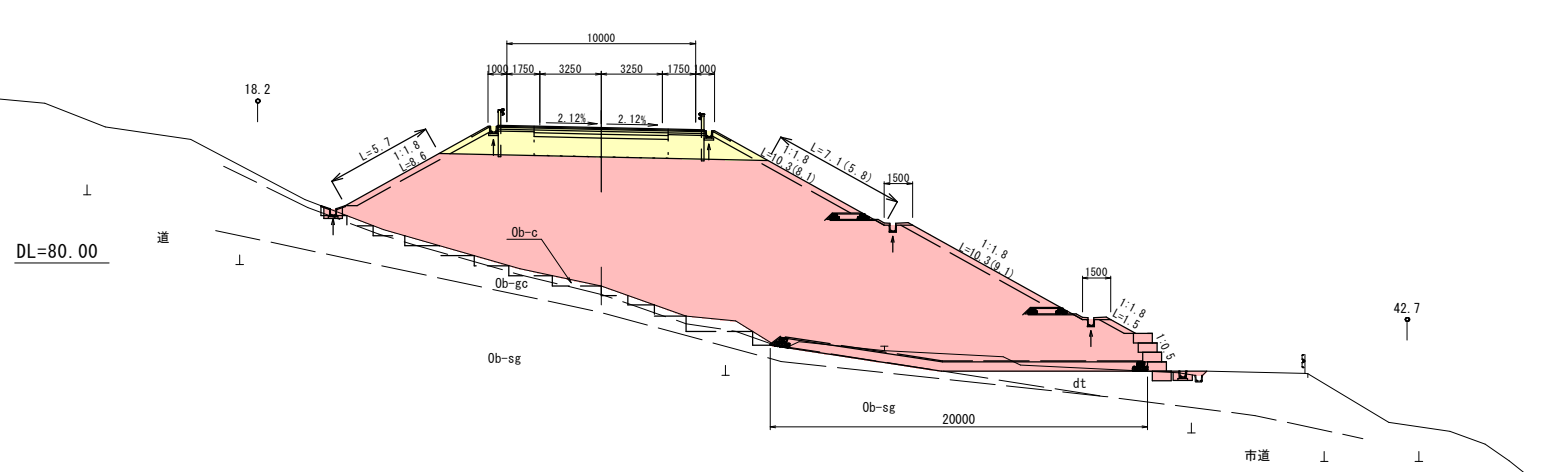
NO. 126	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	2.1	-
オープン	-	-	-
床掘	小規模	1.5	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W <sub>2</sub> ≥ 4	-	-
	B: W <sub>1</sub> ≥ 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-
	C: 1 ≤ W <sub>1</sub> < 4, W <sub>2</sub> < 1	0.7	-
	D: W <sub>1</sub> < 1, W <sub>2</sub> < 1	-	-
盛土	W <sub>2</sub> ≤ 2.5	2.5 ≤ W <sub>2</sub> < 4	4層
路体	3.2	10.3	16.7
法面整形	人力	-	-
	機械	-	-
法面整形	人力	-	-
	機械	20.4	-
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
	法面保護工	-	法面保護工
車道路肩	-	-	18.1
養生工	7.1	3.9	-
養生工	7.1	3.9	-
養生工	切土	-	盛土
基面整正	1.0	A s 舗装破砕	1.7



今回施工

NO. 125+7.0	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	-	-
オープン	-	9.2	-
床掘	小規模	0.4	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W <sub>2</sub> ≥ 4	-	-
	B: W <sub>1</sub> ≥ 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-
	C: 1 ≤ W <sub>1</sub> < 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-
	D: W <sub>1</sub> < 1, W <sub>2</sub> < 1	-	-
盛土	W <sub>2</sub> ≤ 2.5	2.5 ≤ W <sub>2</sub> < 4	4層
路体	-	-	243.3
法面整形	人力	-	-
	機械	-	-
法面整形	人力	-	-
	機械	24.6	-
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
	法面保護工	-	法面保護工
基面整正	0.5	A s 舗装破砕	22.1

NO. 125+7.0	砂質土	粘性土	礫質土
切取	片切	-	-
オープン	-	20.0	-
床掘	小規模	0.4	-
	大規模	-	-
埋戻	A: W <sub>2</sub> ≥ 4	-	-
	B: W <sub>1</sub> ≥ 4, W <sub>2</sub> < 1	-	-
	C: 1 ≤ W <sub>1</sub> < 4, W <sub>2</sub> < 1	0.2	-
	D: W <sub>1</sub> < 1, W <sub>2</sub> < 1	-	-
盛土	W <sub>2</sub> ≤ 2.5	2.5 ≤ W <sub>2</sub> < 4	4層
路体	1.9	5.4	247.1
法面整形	人力	-	-
	機械	8.1	-
法面整形	人力	-	-
	機械	-	-
法面整形	養生基材吹付工	-	人工強化工
	法面保護工	-	法面保護工
車道路肩	-	-	27.5
養生工	7.1	3.9	-
養生工	7.1	3.9	-
養生工	切土	-	盛土
基面整正	0.5	A s 舗装破砕	2.0



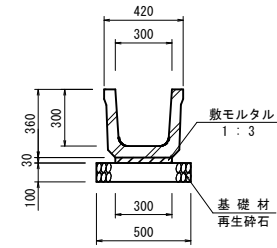
注) 盛土区間は段切りを施し現地盤との密着を図り、滑動防止に努めること。  
**実施設計図**  
 NO. 125+7.0~NO. 127

鹿児島県	
工事名	道路改築工事(阿久根高尾野道路R0-3区)
路線名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	横断図 (4/18)
縮尺	S=1:200
図面番号	全 葉 第 号



# 構造図 (1)

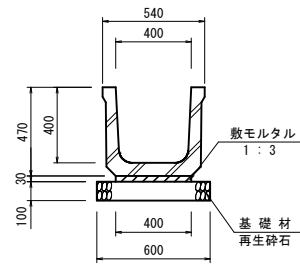
U300 型側溝 道路用 S=1:20



U300型側溝 道路用 材料表 10m当り

工種	材料	計算式	数量	単位
側溝	道路用(300×300)	L=2 000 W=260kg	10.00	m
基礎材	再生砕石	(t=10cm)0.50×10.00 = 5.000	5.00	m <sup>2</sup>
敷モルタル	1:3	0.30×0.03×10.00 = 0.090	0.09	m <sup>3</sup>

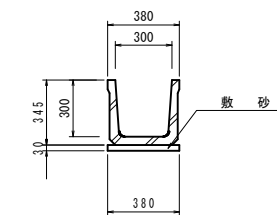
U400 型側溝 道路用 S=1:20



U400型側溝 道路用 材料表 10m当り

工種	材料	計算式	数量	単位
側溝	道路用(400×400)	L=2 000 W=378kg	10.00	m
基礎材	再生砕石	(t=10cm)0.60×10.00 = 6.000	6.00	m <sup>2</sup>
敷モルタル	1:3	0.40×0.03×10.00 = 0.120	0.12	m <sup>3</sup>

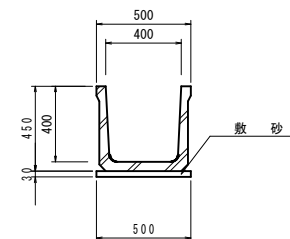
U300 型側溝 水路用 S=1:20



U300型側溝 水路用 (300×300) 材料表 10m当り

工種	材料	計算式	数量	単位
側溝	水路用(300×300)	L=2 000 W=180kg	10.00	m
敷砂	t=3cm	0.38×0.03×10.0 = 0.114	0.11	m <sup>3</sup>

U400 型側溝 水路用 S=1:20

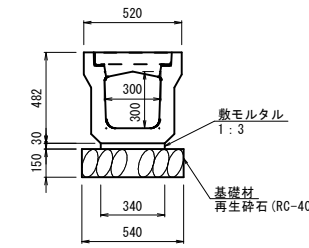


U400型側溝 水路用 材料表 10m当り

工種	材料	計算式	数量	単位
側溝	水路用(400×400)	L=2 000 W=268kg	10.00	m
敷砂	t=3cm	0.50×0.03×10.0 = 0.150	0.15	m <sup>3</sup>

落蓋側溝300型 S=1:20

グレーチングタイプ(横断用)

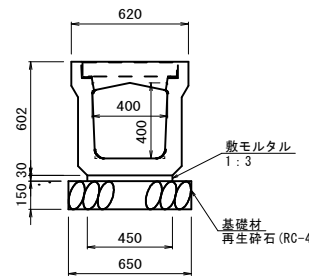


落蓋側溝300型 グレーチングタイプ(横断用)材料表 10m当り

工種	材料	計算式	数量	単位
落蓋側溝	グレーチング(横断用) 300×300	300×300×2000 (555kg/本)	5.0	本
基礎材	再生砕石 (RC-40)	0.54×10.00 (t=15cm)	5.40	m <sup>2</sup>
敷モルタル	1:3	0.34×0.03×10.00	0.10	m <sup>3</sup>
グレーチング	T-25		5.00	枚

落蓋側溝400型 S=1:20

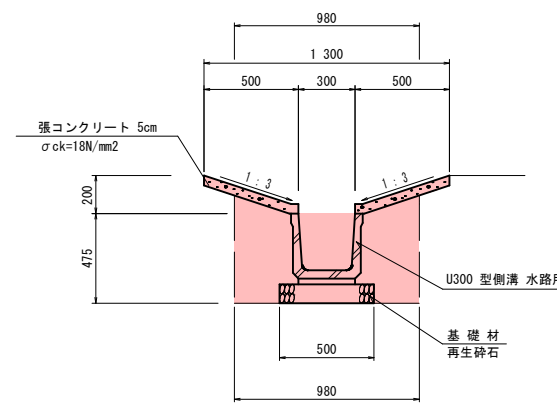
グレーチングタイプ(横断用)



落蓋側溝400型 グレーチングタイプ(横断用)材料表 10m当り

工種	材料	計算式	数量	単位
落蓋側溝	グレーチング(横断用) 400×400	400×400×2000	5.0	本
基礎材	再生砕石 (RC-40)	0.65×10.00 (t=15cm)	6.50	m <sup>2</sup>
敷モルタル	1:3	0.45×0.03×10.00	0.14	m <sup>3</sup>
グレーチング	T-25		5.00	枚

排水工A型300 S=1:20

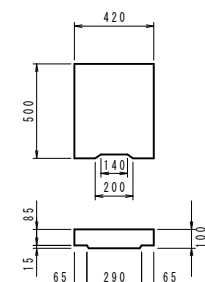


排水工A型300 材料表 10m当り

工種	材料	計算式	数量	単位
側溝	水路用(300×300)	L=2 000 W=180kg	10.00	m
張コンクリート	σck=18N/mm2	0.50×0.05×10.00×2 = 0.500	0.50	m <sup>3</sup>
型枠	掛料	0.05×4×10.00 = 2.000	2.00	m <sup>2</sup>
床掘	普通土	0.98×0.475×10.00 = 4.655	4.7	m <sup>3</sup>
埋戻	普通土	4.655-2.280×1/0.9 = 2.280	2.3	m <sup>3</sup>
残土	普通土	4.655-2.280×1/0.9 = 2.122	2.1	m <sup>3</sup>
基面整正	普通土	0.50×10.00 = 5.000	5.0	m <sup>3</sup>
基礎材	再生砕石	(t=10cm)0.50×10.00 = 5.000	5.00	m <sup>2</sup>
敷モルタル	1:3	0.30×0.03×10.00 = 0.090	0.09	m <sup>3</sup>
目地材	1333付(t=10mm)	0.50×0.05×2 = 0.050	0.05	m <sup>2</sup>

(土工は横断面で計上)

300蓋版(道路用) S=1:20



300蓋版(道路用)材料表 (1枚当り)

種別	規格・寸法	数量	単位
蓋版	道路用 L=500mm 46kg/枚	1	枚

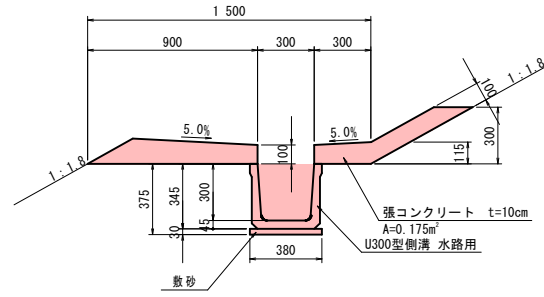
## 実施設計図

鹿 児 島 県	
工事名	道路改築工事(阿久根高尾野道路R0-3工区)
路線名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	構造図(1)
縮尺	図示
図面番号	全 葉 第 号

# 構造図 (2)

**A型小段排水工300型**

S=1:20

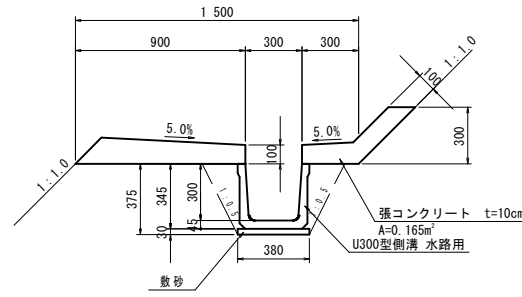


A型小段排水工300型数量表 10m当り

工種	材料	計算式	数量
側溝	U型側溝 300型	L=2.00/本 W=180kg/本	10.00 m
敷砂	t=3cm	0.03×0.38×10.00	0.11 m3
張コンクリート	σck=18N/mm²	0.175×10.00	1.75 m3
同上型枠	小型構造物	0.10×2×10.00	2.00 m2
目地材	エポキシ付(t=10mm)	A=0.175m²	0.18 m2

**B型小段排水工300型**

S=1:20

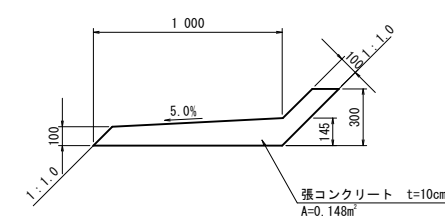


B型小段排水工300型数量表 10m当り

工種	材料	計算式	数量
側溝	U型側溝 300型	L=2.00/本 W=180kg/本	10.00 m
敷砂	t=3cm	0.03×0.38×10.00	0.11 m3
張コンクリート	σck=18N/mm²	0.165×10.00	1.65 m3
同上型枠	小型構造物	0.10×2×10.00	1.00 m2
目地材	エポキシ付(t=10mm)	A=0.165m²	0.17 m2

**A型小段保護工**

S=1:20

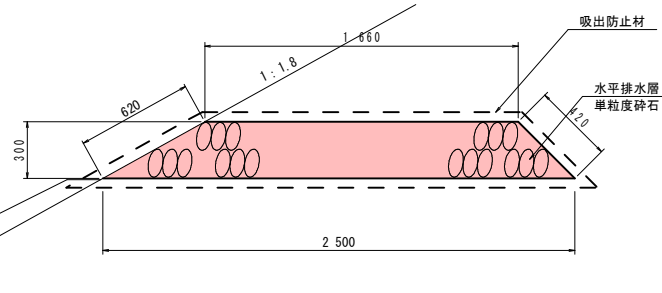


A型小段保護工数量表 10m当り

工種	材料	計算式	数量
張コンクリート	σck=18N/mm²	0.148×10.00	1.48 m3
目地材	エポキシ付(t=10mm)	A=0.148m²	0.15 m2

**水平排水層**

S=1:20

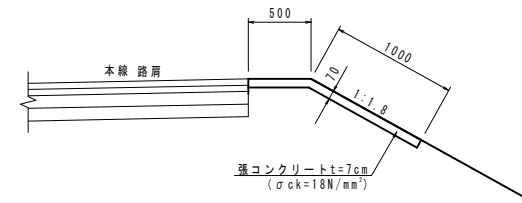


水平排水層 10m当り

工種	材料	計算式	数量
水平排水層	単粒度砕石	1/2×(1.66+2.50)×0.30×10.0	6.24 m3
吸出防止材	t=10mm	(1.66+2.50+0.42+0.62)×10.0	52.00 m2

**のり肩保護工**

S=1:30

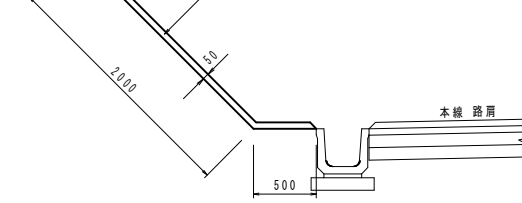


のり肩保護工数量表 10m当り

工種	材料	計算式	数量
張コンクリート	σck=18N/mm² t=7cm	(0.50+1.00)×0.07×10.00 = 1.050	1.05 m3
型枠	小型構造物用	0.07×2×10.00=1.40	1.40 m3
目地材	エポキシ付(t=10mm)	(1.00+0.50)×0.07 = 0.105	0.11 m2

**のり尻保護工**

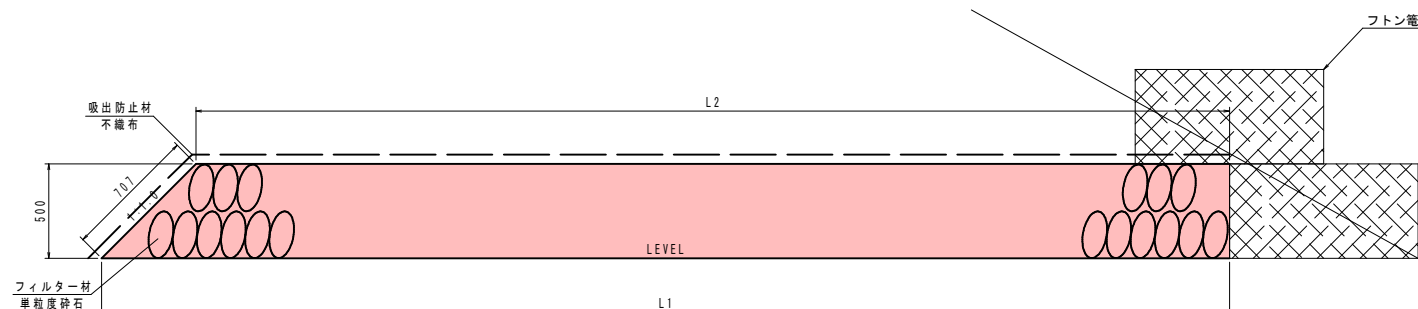
S=1:30



のり尻保護工数量表 10m当り

工種	材料	計算式	数量
モルタル吹付	t=5cm	(0.50+2.00)×10.00 = 25.000	25.00 m2
目地材	エポキシ付(t=10mm)	(2.00+0.50)×0.05 = 0.125	0.13 m2

**基盤排水層 詳細図 S=1:20**



基盤排水層 材料表 縦断方向10.0m当り

L1 (m)	L2 (m)	フィルター材 (m3)	吸出防止材 (m2)
10.00	9.50	48.75	102.07
20.00	19.50	98.75	202.07

## 実施設計図

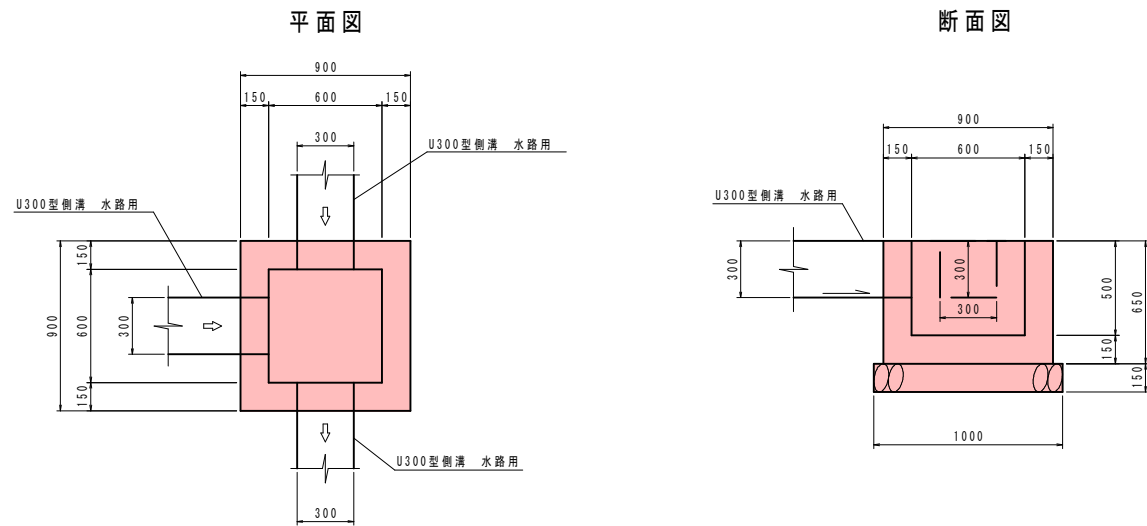
鹿 児 島 県	
工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R0-3区工)
路線名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	構造図 (2)
縮尺	図示
図面番号	全 葉 第 号



# 構造図 (12)

## 集水樹

集水樹 B-1型 s=1:20

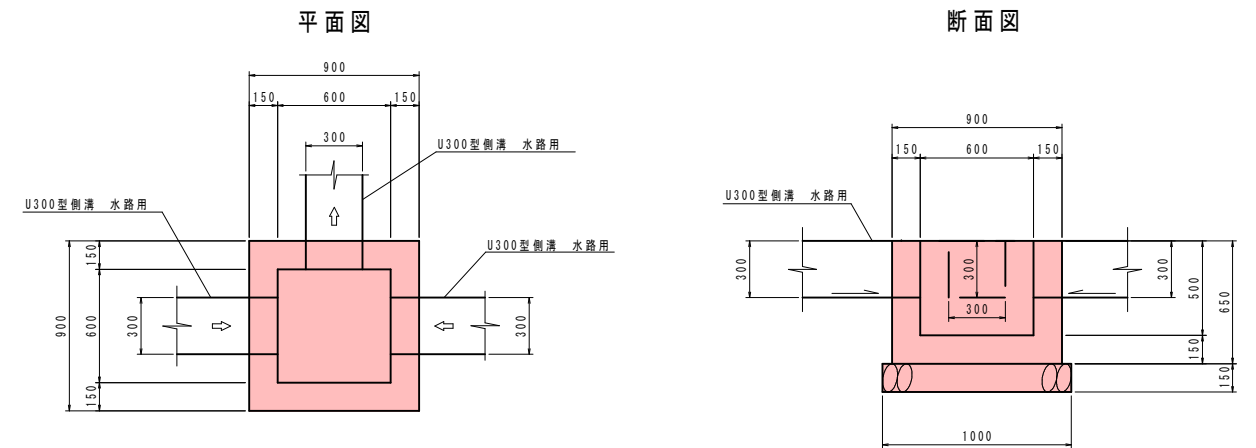


集水樹 B-1型 材料表

1.0箇所当り

工種	材料	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.65 - 0.60 \times 0.60 \times 0.50 - 0.30 \times 0.30 \times 0.15 \times 3$	= 0.306	0.31 m <sup>3</sup>
型枠	損料	$0.65 \times 0.90 \times 4 + 0.50 \times 0.60 \times 4 - 0.30 \times 0.30 \times 2 \times 3$	= 3.000	3.00 m <sup>2</sup>
基面整正		$1.00 \times 1.00$	= 1.000	1.0 m <sup>2</sup>
基礎砕石	再生砕石 RC40	$1.00 \times 1.00$	= 1.000	1.0 m <sup>2</sup>

集水樹 B-3型 s=1:20

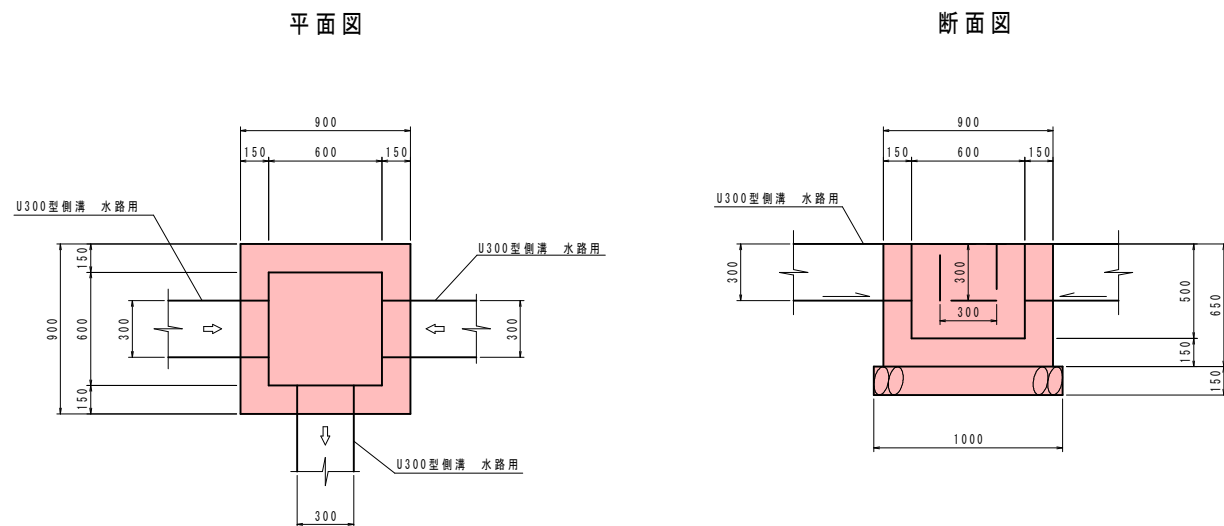


集水樹 B-3型 材料表

1.0箇所当り

工種	材料	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.65 - 0.60 \times 0.60 \times 0.50 - 0.30 \times 0.30 \times 0.15 \times 3$	= 0.306	0.31 m <sup>3</sup>
型枠	損料	$0.65 \times 0.90 \times 4 + 0.50 \times 0.60 \times 4 - 0.30 \times 0.30 \times 2 \times 3$	= 3.000	3.00 m <sup>2</sup>
基面整正		$1.00 \times 1.00$	= 1.000	1.0 m <sup>2</sup>
基礎砕石	再生砕石 RC40	$1.00 \times 1.00$	= 1.000	1.0 m <sup>2</sup>

集水樹 B-2型 s=1:20



集水樹 B-2型 材料表

1.0箇所当り

工種	材料	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.65 - 0.60 \times 0.60 \times 0.50 - 0.30 \times 0.30 \times 0.15 \times 3$	= 0.306	0.31 m <sup>3</sup>
型枠	損料	$0.65 \times 0.90 \times 4 + 0.50 \times 0.60 \times 4 - 0.30 \times 0.30 \times 2 \times 3$	= 3.000	3.00 m <sup>2</sup>
基面整正		$1.00 \times 1.00$	= 1.000	1.0 m <sup>2</sup>
基礎砕石	再生砕石 RC40	$1.00 \times 1.00$	= 1.000	1.0 m <sup>2</sup>

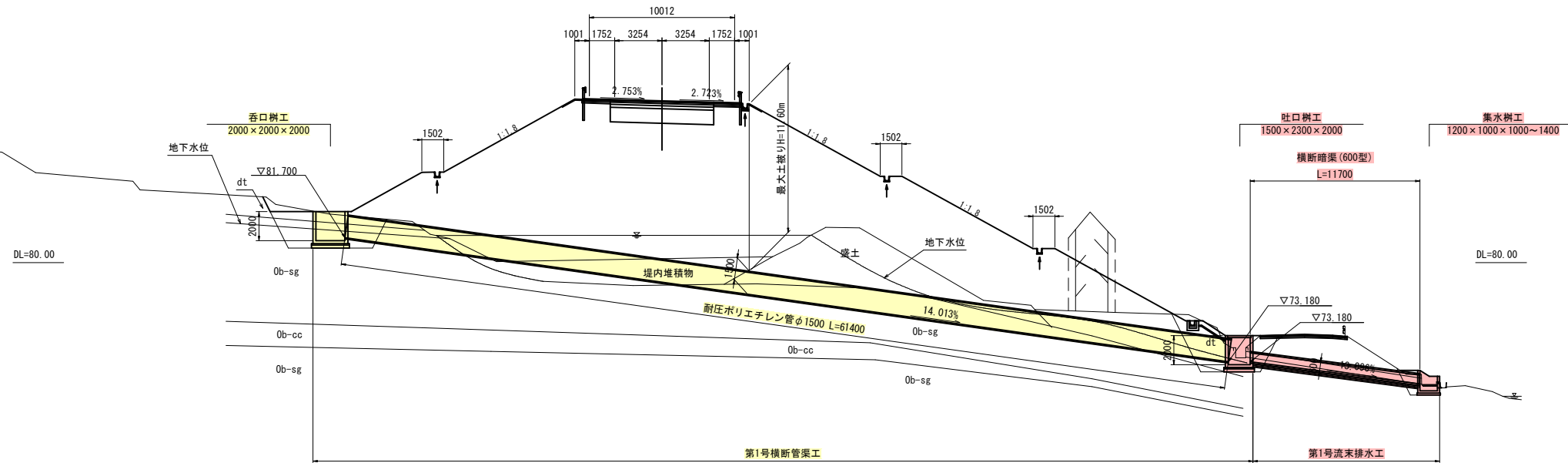
## 実施設計図

鹿児島県	
工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R0-3工区)
路線名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	集水樹 B-1~B-3型
縮尺	図示
図面番号	全 葉 第 号

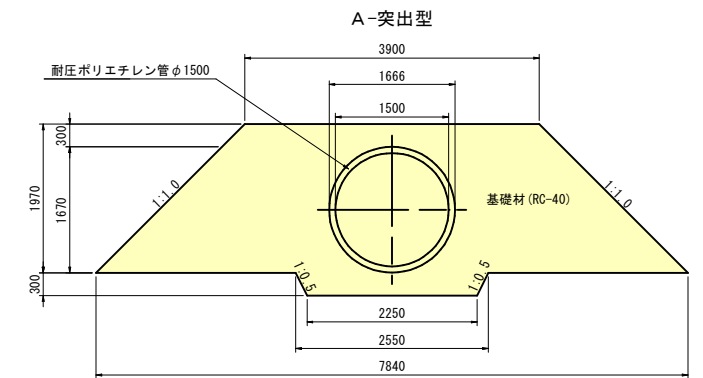
# 第1号横断管渠工 (1/5)

側面図 S=1:200

NO. 121+7.88  
GH=80.26  
FH=91.12



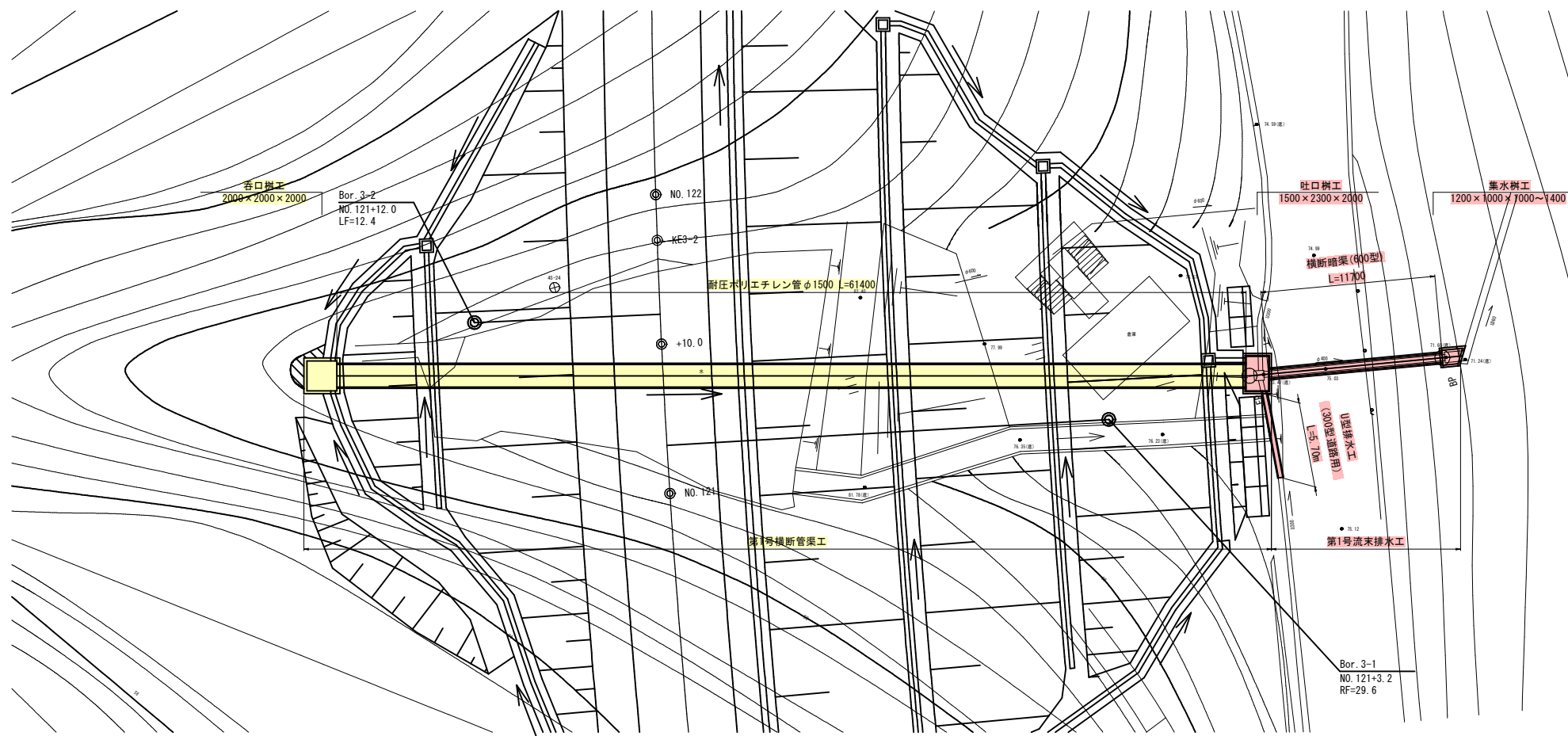
横断管渠工標準断面図 S=1:50



継手部詳細図



平面図 S=1:200



耐圧ポリエチレン管φ1500(A-突出型) 数量表

名称	摘要	計算式	数量	単位	1.0式当り
躯体	R30 φ1500	φ1500×L5000 W=895kg	61.40	m	
基礎材	RC-40	$[1/2 \times (3.90+7.84) \times 1.97 + 1/2 \times (2.25+2.55) \times 0.30 - 1/4 \times \pi \times 1.666 \times 1.666] \times 61.40$	620.39	m <sup>3</sup>	

第1号横断管渠工 数量表

名称	摘要	計算式	数量	単位	1.0式当り
耐圧ポリエチレン管 R30 φ1500	A-突出型		61.40	m	
呑口樹工	2000×2000×2000		1.00	箇所	
吐口樹工	1500×2300×2000		1.00	箇所	

設計条件

内空断面	φ1.500m	
基礎の種類	直接基礎(裏込材基礎)	
設計土かぶり	H=11.60m	
設計荷重	B活荷重	
単位体積重量	鉄筋コンクリート	24.5 kN/m <sup>3</sup>
	アスファルト舗装	22.5 kN/m <sup>3</sup>
	土	19.0 kN/m <sup>3</sup>
水位	外水位	無し
材種	管種	耐圧ポリエチレン管 R30 φ1500 A型
裏込材		C-40

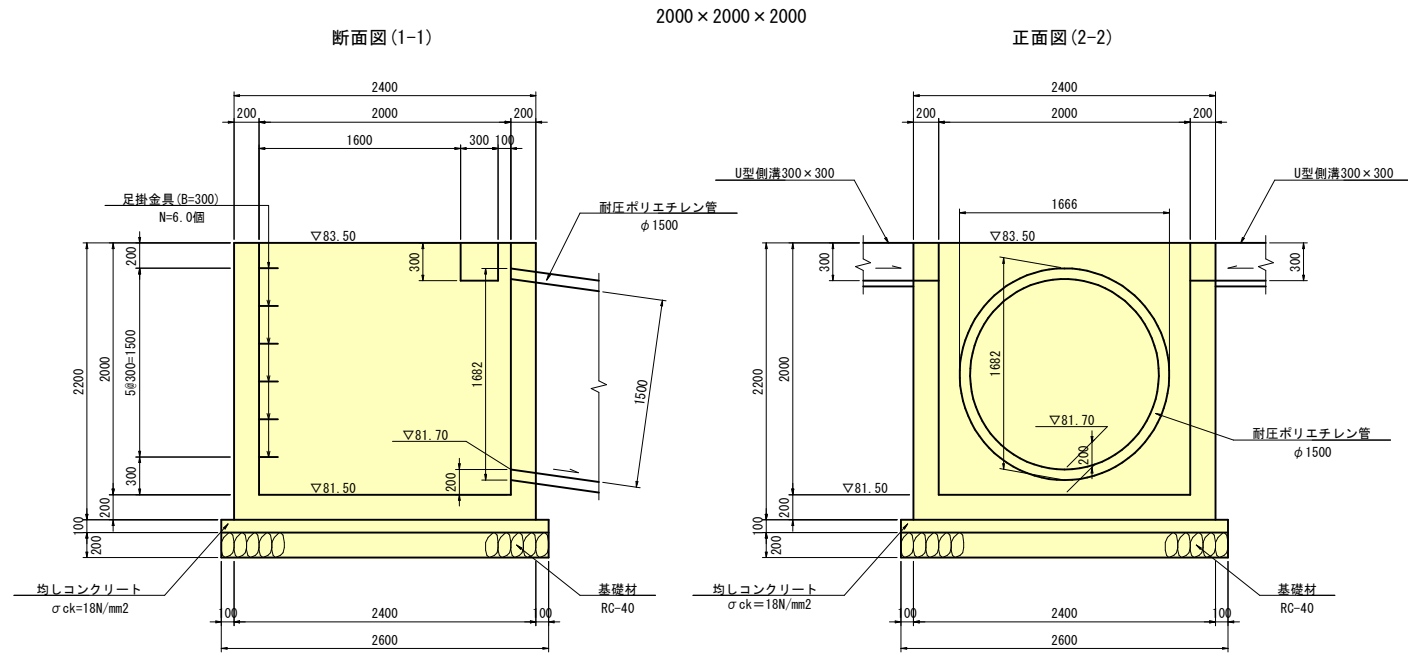
## 実施設計図

鹿児島県

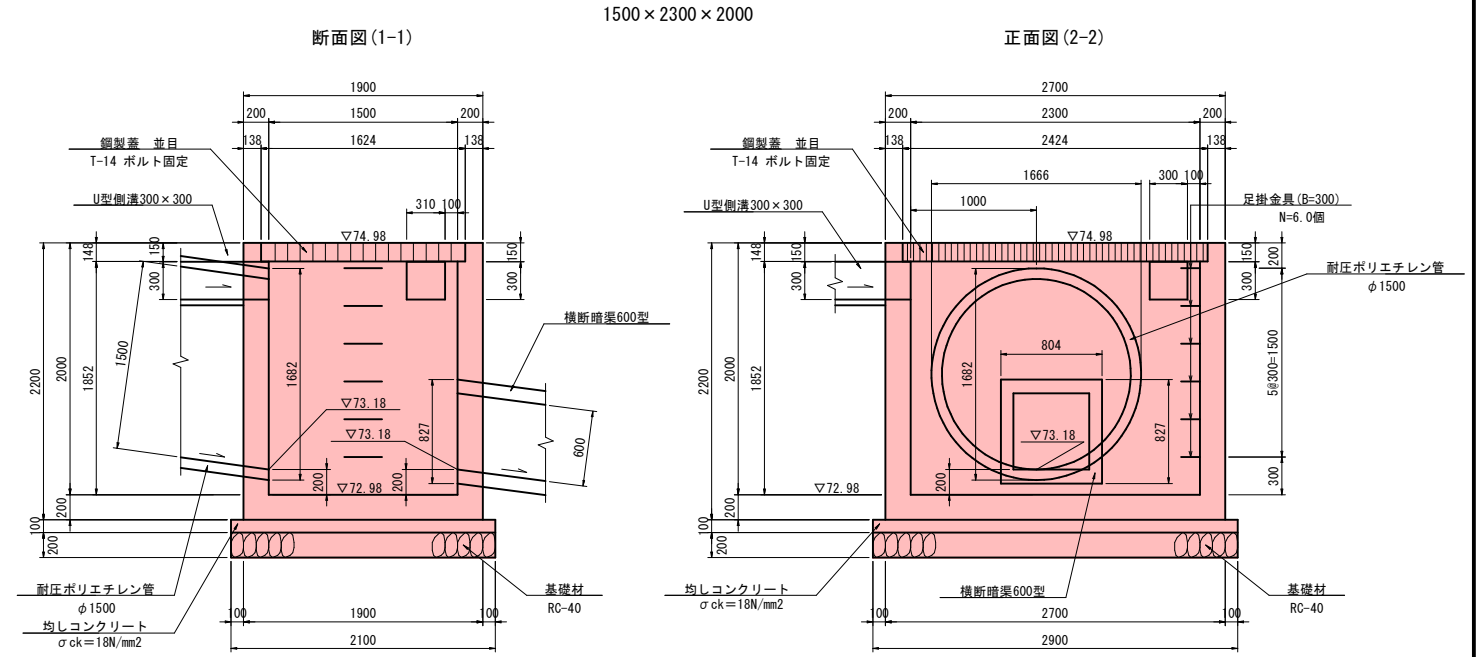
工事名	道路改築工事(阿久根高尾野道路R0-3区工)
河川名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第1号横断管渠工(1/5)
縮尺	図示
図面番号	全 業 第 号

# 第1号横断管渠工 (2/5)

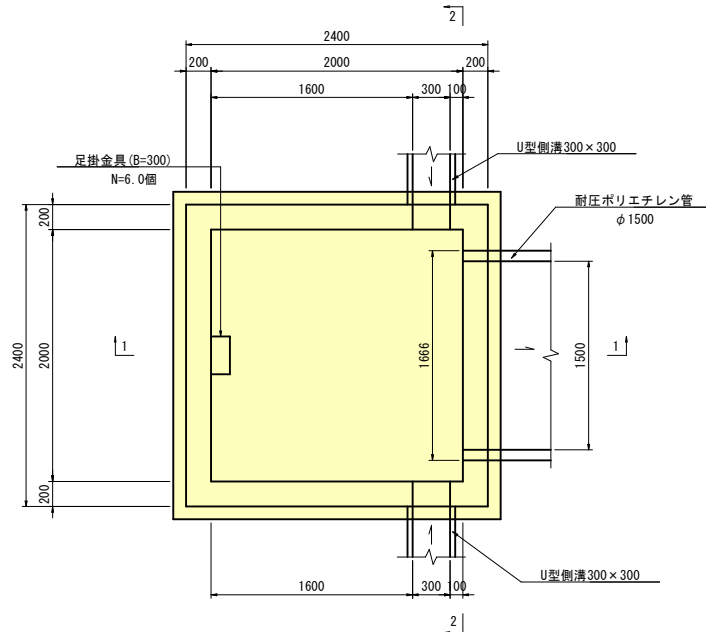
呑口柵工構造図 S=1:30



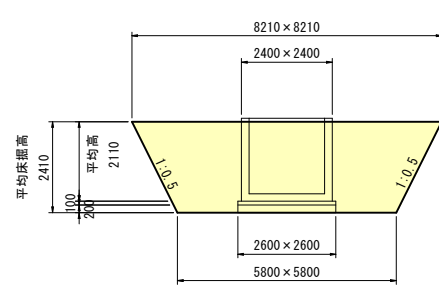
吐口柵工構造図 S=1:30



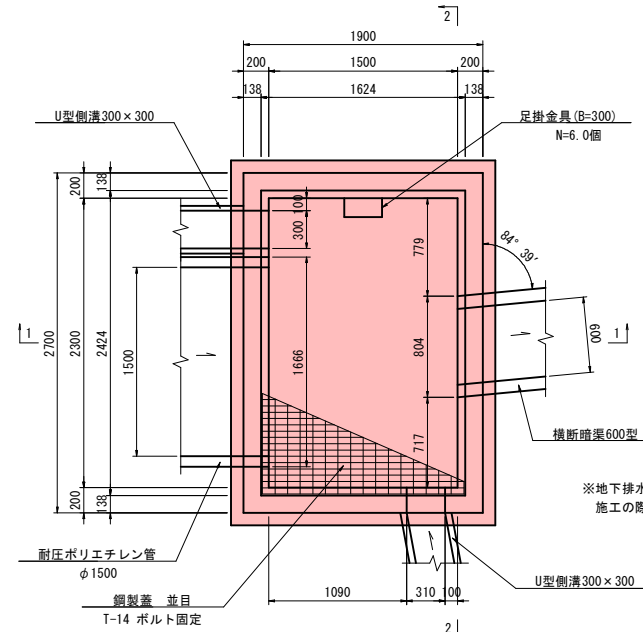
平面図



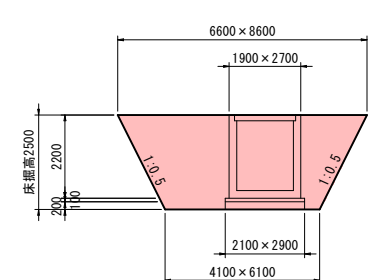
土工図 S=1:100



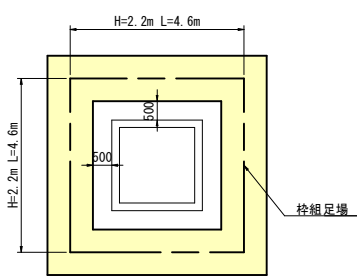
平面図



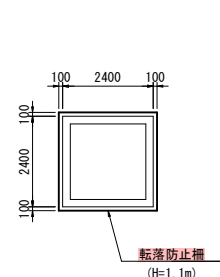
土工図 S=1:100



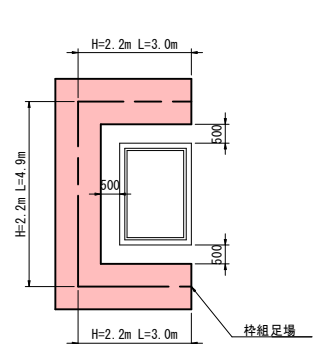
足場工 S=1:100



転落防止柵配置図 S=1:100



足場工 S=1:100



呑口柵工 材料表

種別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	$2.40 \times 2.40 \times 2.20 - 2.00 \times 2.00 \times 2.00 - 1/4 \times 1.666 \times 1.682 \times \pi \times 0.20$ $- 0.30 \times 0.30 \times 0.20 \times 2$	= 4.196	4.20 m <sup>3</sup>
型枠	鉄筋構造物	$(2.40 \times 2.20 + 2.00 \times 2.00) \times 4 - 1/4 \times 1.666 \times 1.682 \times \pi \times 2$ $- 0.30 \times 0.30 \times 2 \times 2 \times 0.20 \times 2 \times 2$	= 32.598	32.60 m <sup>2</sup>
鉄筋	SD345 D13	呑口柵工配筋図より	198.0	kg
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.60 \times 2.60 \times 0.10$	= 0.676	0.68 m <sup>3</sup>
同上型枠		$2.60 \times 0.10 \times 4$	= 1.040	1.04 m <sup>2</sup>
基礎材	RC-40 t=200mm	$2.60 \times 2.60$	= 6.760	6.76 m <sup>2</sup>
足掛金具	B=300			6 個
床掘		$(5.80 \times 5.80 + 8.21 \times 8.21) \times 1/2 \times 2.41$	= 121.758	121.76 m <sup>3</sup>
埋戻		$121.758 - 2.40 \times 2.40 \times 2.11 - 2.60 \times 2.60 \times (0.10 + 0.20)$	= 107.576	107.58 m <sup>3</sup>
残土処理		$121.758 - 107.576 / 0.9$	= 2.229	2.23 m <sup>3</sup>
基面整正		$2.60 \times 2.60$	= 6.760	6.76 m <sup>2</sup>
足場工	枠組足場	$2.20 \times 4.60 \times 4$	= 40.480	40.48 掛m <sup>2</sup>
転落防止柵	H=1.1m	$(2.40 + 0.10) \times 2 \times 4$	= 10.400	10.40 m

吐口柵工 材料表

種別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	$2.70 \times 1.90 \times 2.20 - 2.424 \times 1.624 \times 0.148 - 2.30 \times 1.50 \times 1.852$ $- 1/4 \times 1.666 \times 1.682 \times \pi \times 0.20 - 0.804 \times 0.827 \times 0.20 - 0.31 \times 0.30 \times 0.20$ $- 0.30 \times 0.30 \times 0.20$	= 3.704	3.70 m <sup>3</sup>
型枠	鉄筋構造物	$(2.70 + 1.90) \times 2.20 + 2 \times (2.30 + 1.50) \times 1.852 \times 2 - 1/4 \times 1.666 \times 1.682 \times \pi \times 2$ $- 0.804 \times 0.827 \times 2 - 0.31 \times 0.30 \times 2 - 0.30 \times 0.30 \times 2 \times 0.20 - 0.30 \times 0.20 \times 5$	= 28.580	28.58 m <sup>2</sup>
鉄筋	SD345 D16	吐口柵工配筋図より	281.0	kg
鋼製蓋	T-14 並目 ボルト固定	鋼製蓋 798 × 1600 × 130 × 3枚 W=144.0kg × 3枚 受 枠 2424 × 1624 × 148 W=80.4kg		1.00 組
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.10 \times 2.90 \times 0.10$	= 0.609	0.61 m <sup>3</sup>
同上型枠		$(2.10 + 2.90) \times 0.10 \times 2$	= 1.000	1.00 m <sup>2</sup>
基礎材	RC-40 t=200mm	$2.10 \times 2.90$	= 6.090	6.09 m <sup>2</sup>
足掛金具	B=300			6 個
床掘		$(4.10 \times 6.10 + 6.60 \times 8.60) \times 1/2 \times 2.50$	= 102.213	102.21 m <sup>3</sup>
埋戻		$102.213 - 1.90 \times 2.70 \times 2.20 - 2.10 \times 2.90 \times (0.10 + 0.20)$	= 89.100	89.10 m <sup>3</sup>
残土処理		$102.213 - 89.100 / 0.9$	= 3.213	3.21 m <sup>3</sup>
基面整正		$2.10 \times 2.90$	= 6.090	6.09 m <sup>2</sup>
足場工	枠組足場	$2.20 \times 4.90 \times 2.20 \times 3.00 \times 2$	= 23.980	23.98 掛m <sup>2</sup>

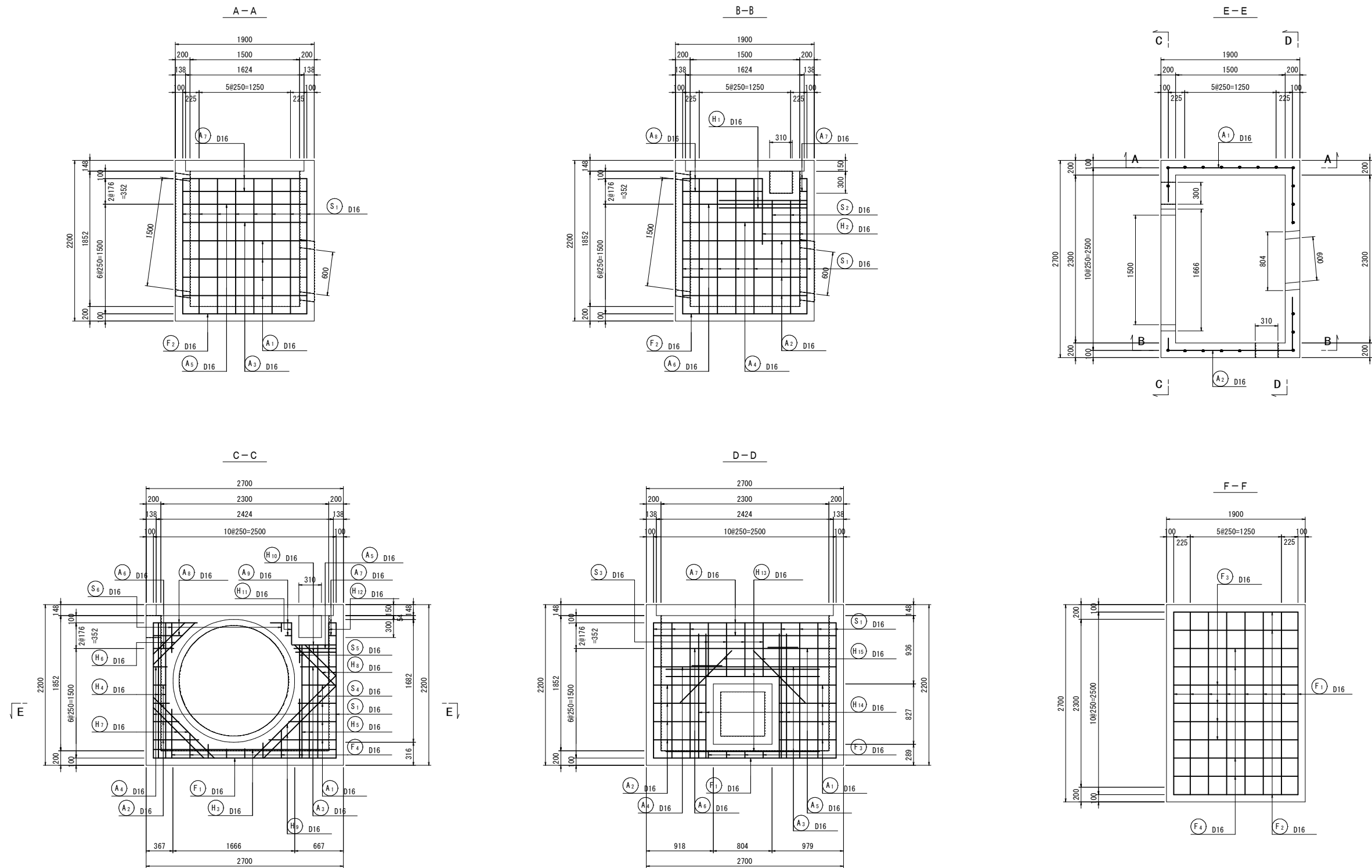
## 実施設計図

鹿兒島県	
工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R3-3工区)
河川名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第1号横断管渠工 (2/5)
縮尺	図示
図面番号	全 業 第 号

# 第1号横断管渠工 (4/5)

## 吐口柵工配筋図 (1/2)

S=1:30



※地下排水工φ300の接続については  
施工の際に位置・配筋等を調整すること

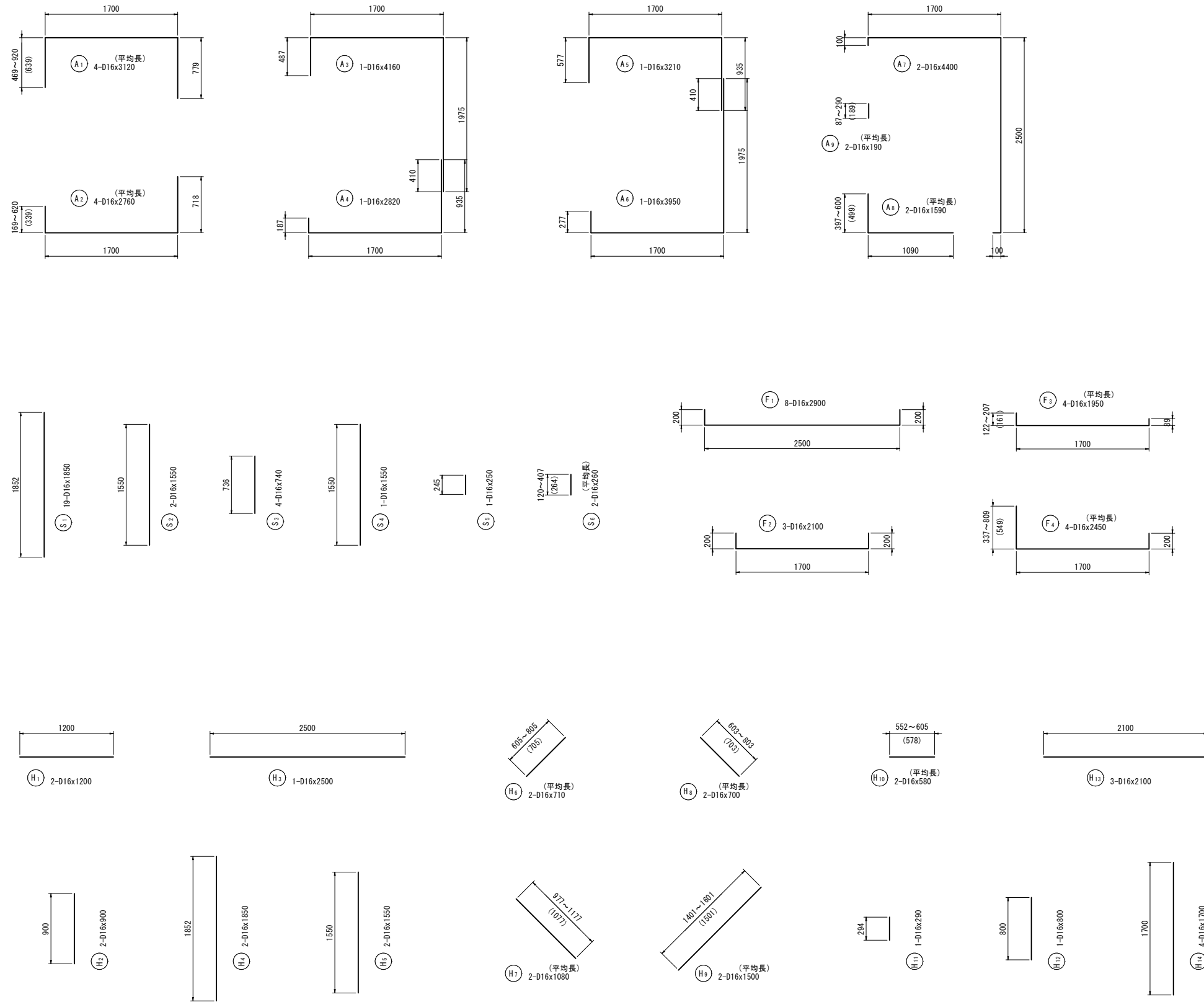
### 実施設計図

鹿児島県

工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R0-3工区)
河川 路線	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第1号横断管渠工 (4/5)
縮尺	S=1:30
図面番号	全 業 第 号

# 第1号横断管渠工 (5/5)

吐口柵工配筋図 (2/2) S=1:30



鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A1	D16	3120	4	1.56	4.87	19	
2	〃	2760	4	〃	4.31	17	
3	〃	4160	1	〃	6.49	6	
4	〃	2820	1	〃	4.40	4	
5	〃	3210	1	〃	5.01	5	
6	〃	3950	1	〃	6.16	6	
7	〃	4400	2	〃	6.86	14	
8	〃	1590	2	〃	2.48	5	平均長
9	〃	190	2	〃	0.30	1	平均長
							77 kg
H1	D16	1200	2	1.56	1.87	4	
2	〃	900	2	〃	1.40	3	
3	〃	2500	1	〃	3.90	4	
4	〃	1850	2	〃	2.89	6	
5	〃	1550	2	〃	2.42	5	
6	〃	710	2	〃	1.11	2	平均長
7	〃	1080	2	〃	1.68	3	平均長
8	〃	700	2	〃	1.09	2	平均長
9	〃	1500	2	〃	2.34	5	平均長
10	〃	580	2	〃	0.90	2	平均長
11	〃	290	1	〃	0.45	1	
12	〃	800	1	〃	1.25	1	
13	〃	2100	3	〃	3.28	10	
14	〃	1700	4	〃	2.65	11	
15	〃	1000	2	〃	1.56	3	
							62 kg
F1	D16	2900	8	1.56	4.52	36	
2	〃	2100	3	〃	3.28	10	
3	〃	1950	4	〃	3.04	12	平均長
4	〃	2450	4	〃	3.82	15	平均長
							73 kg
S1	D16	1850	19	1.56	2.89	55	
2	〃	1550	2	〃	2.42	5	
3	〃	740	4	〃	1.15	5	
4	〃	1550	1	〃	2.42	2	
5	〃	250	1	〃	0.39	1	
6	〃	260	2	〃	0.41	1	平均長
							69 kg
				D16	281 kg		
合計				281	kg		

※地下排水工の300の接続については  
施工の際に位置・配筋等を調整すること

## 実施設計図

鹿兒島県	
工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R0-3区工)
河川名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第1号横断管渠工 (5/5)
縮尺	S=1:30
図面番号	全 業 第 号

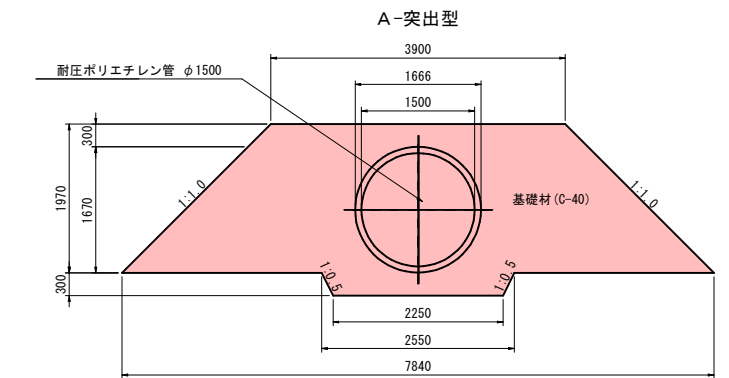
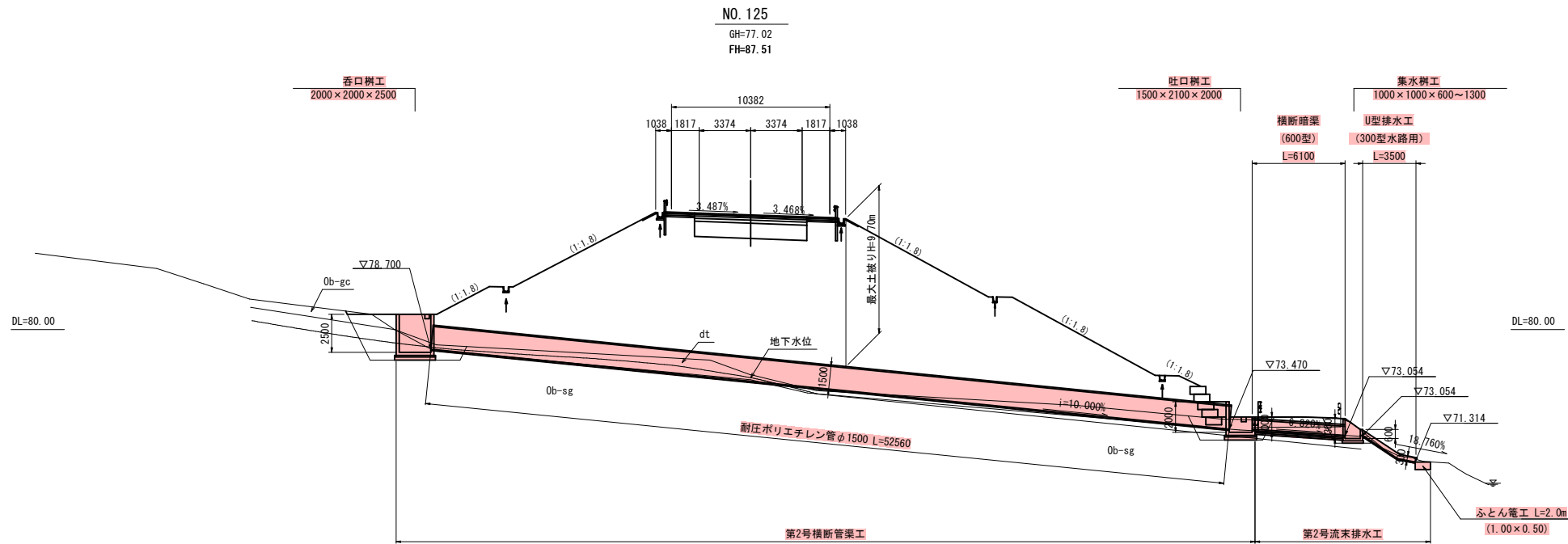
# 第2号横断管渠工 (1/4)

横断管渠工標準断面図

S=1:50

側面図

S=1:200

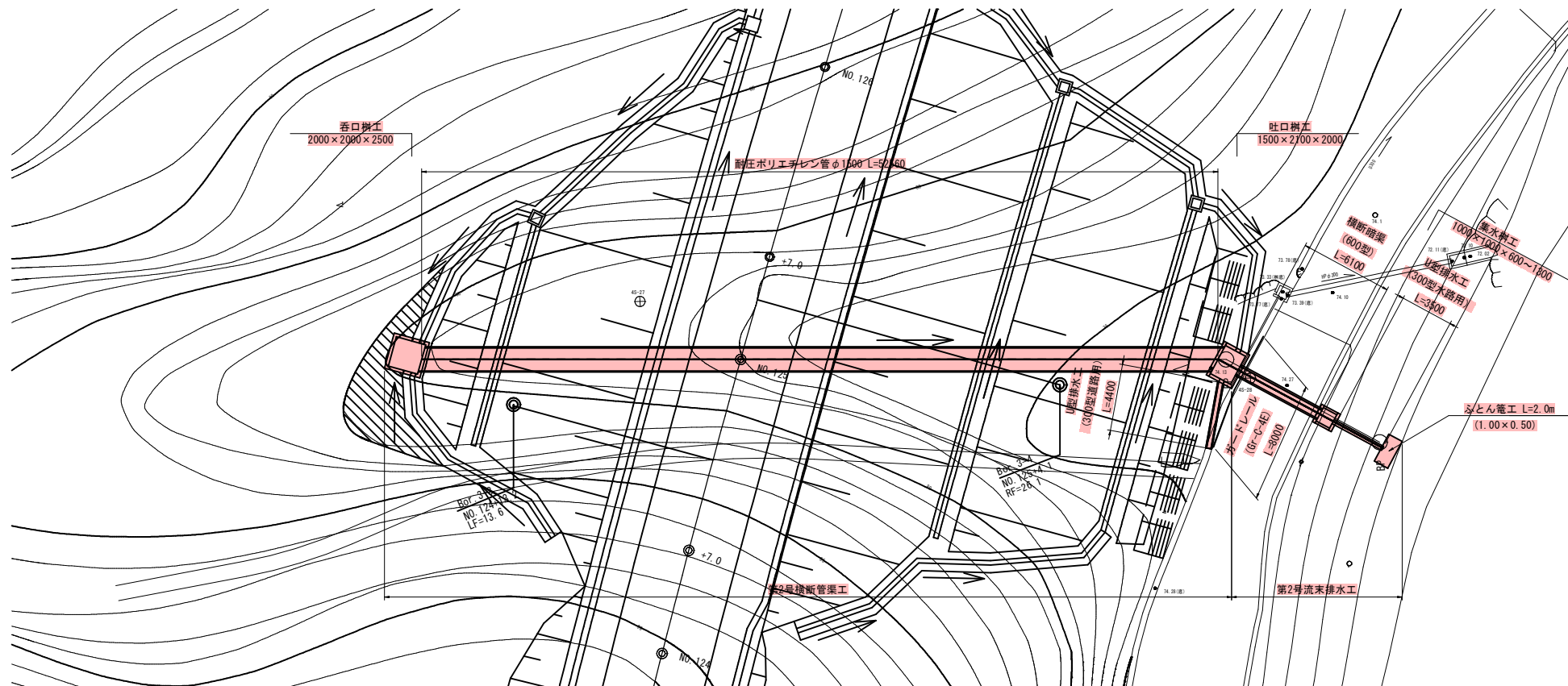


継手部詳細図



平面図

S=1:200



耐圧ポリエチレン管φ1500(A-突出型) 数量表

1.0式当り

名称	摘要	計算式	数量	単位
躯体	R30 φ1500	φ1500×L5000 W=895kg	52.56	m
基礎材	C-40	$[1/2 \times (3.90 + 7.84) \times 1.97 + 1/2 \times (2.25 + 2.55) \times 0.30 - 1/4 \times \pi \times 1.666 \times 1.666] \times 52.56$	531.07	m <sup>3</sup>

第2号横断管渠工 数量表

1.0式当り

名称	摘要	計算式	数量	単位
耐圧ポリエチレン管 R30 φ1500	A-突出型		52.56	m
呑口樹工	2000×2000×2500		1.00	箇所
吐口樹工	1500×2100×2000		1.00	箇所

## 実施設計図

鹿児島県

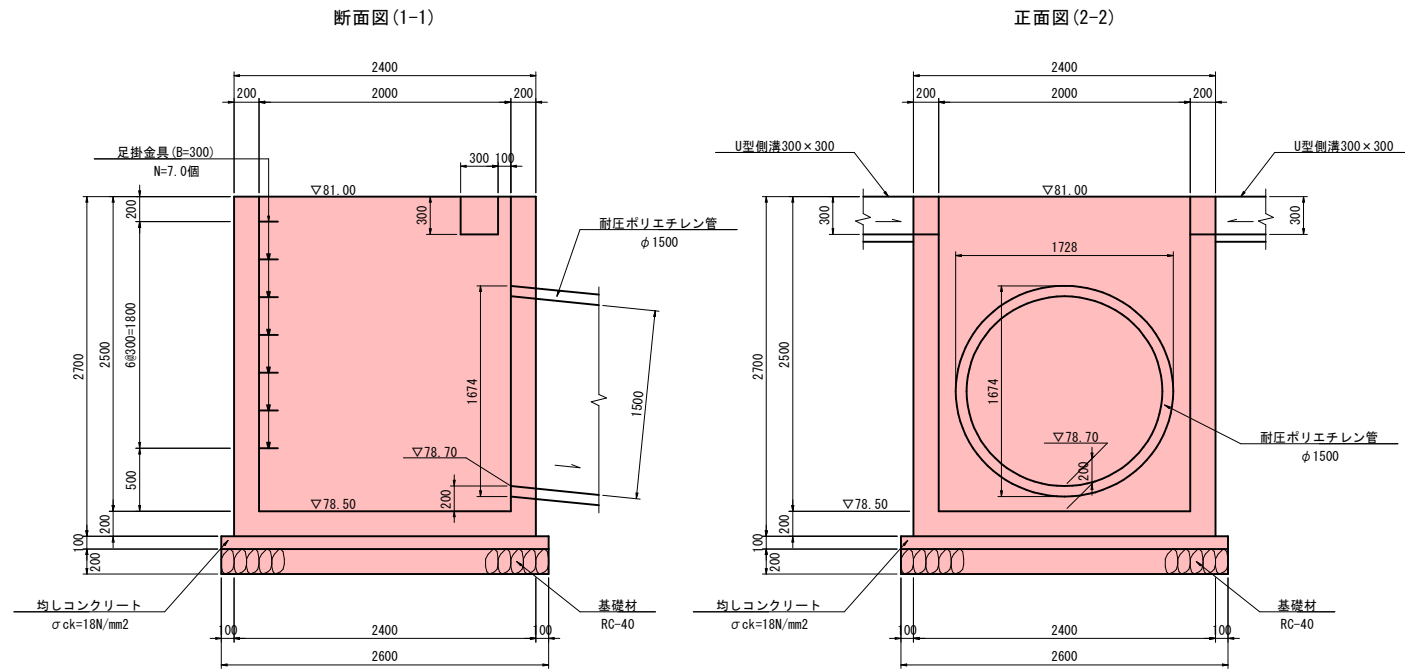
設計条件

内空断面	φ1.500m	
基礎の種類	直接基礎(裏込材基礎)	
設計土かぶり	H=9.70m	
設計荷重	B活荷重	
単位体積重量	鉄筋コンクリート	24.5 kN/m <sup>3</sup>
	アスファルト舗装	22.5 kN/m <sup>3</sup>
	土	19.0 kN/m <sup>3</sup>
水位	外水位	無し
材種	管種	耐圧ポリエチレン管 R30 φ1500 A型
裏込材		C-40

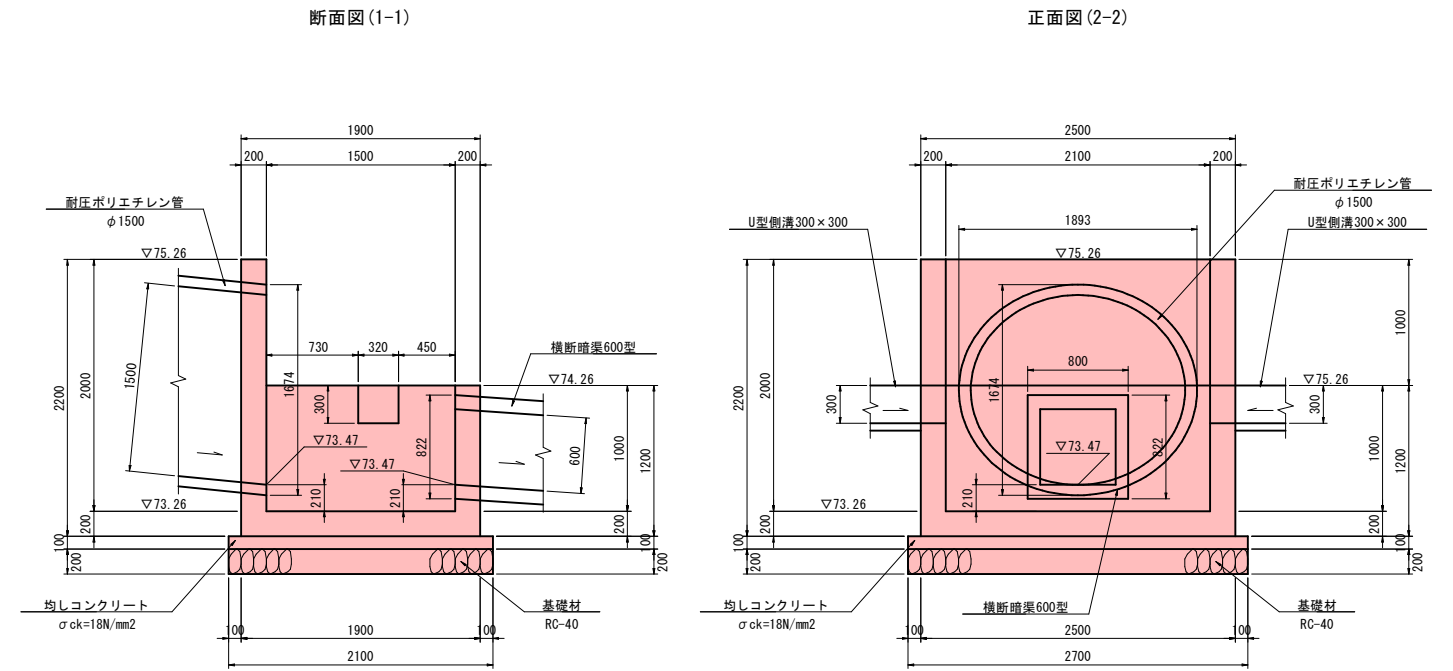
工事名	道路改築工事(阿久根高尾野道路R0-3区工)
河川路線	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第2号横断管渠工(1/4)
縮尺	図示
図面番号	全 業 第 号

## 第2号横断管渠工 (2/4)

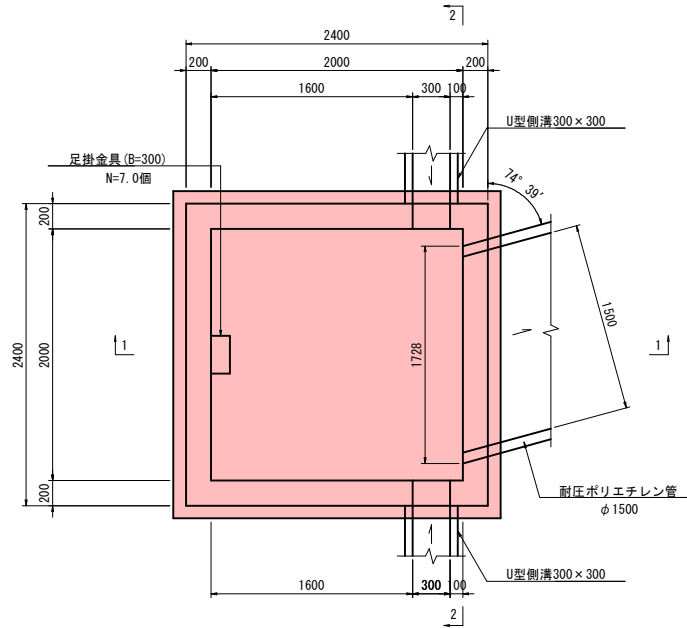
**呑口柵工構造図** S=1:30  
2000×2000×2500



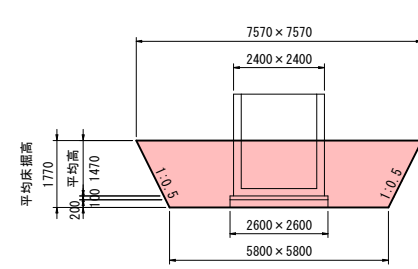
**吐口柵工構造図** S=1:30  
1500×2100×2000/1200



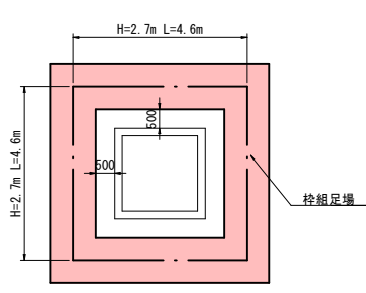
平面図



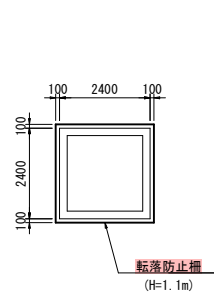
土工図 S=1:100



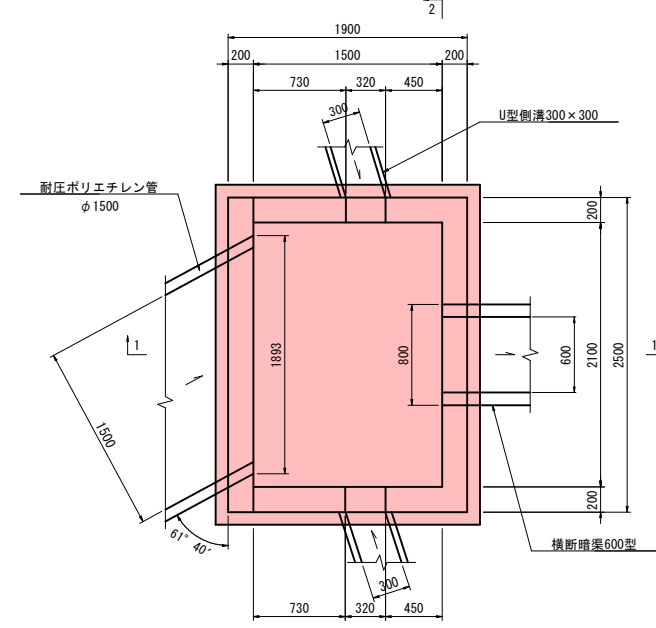
足場工 S=1:100



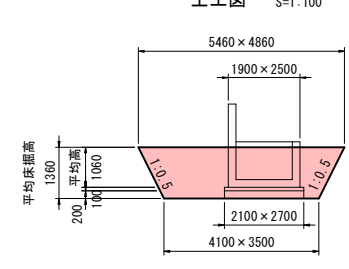
転落防止柵配置図 S=1:100



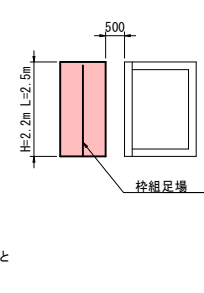
平面図



土工図 S=1:100



足場工 S=1:100



※地下排水工φ300の接続については  
施工の際に位置・配筋等を調整すること

呑口柵工 材料表

種別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	$2.40 \times 2.40 \times 2.70 - 2.00 \times 2.00 \times 2.50 - 1/4 \times 1.728 \times 1.674 \times \pi \times 0.20$ $- 0.30 \times 0.30 \times 0.20 \times 2$	= 5.062	5.06 m <sup>3</sup>
型枠	鉄筋構造物	$(2.40 \times 2.70 + 2.00 \times 2.50) \times 4 - 1/4 \times 1.728 \times 1.674 \times \pi \times 2$ $- 0.30 \times 0.30 \times 2 \times 2 \times 0.20 \times 2 \times 2$	= 41.256	41.26 m <sup>2</sup>
鉄筋	SD345 D13	呑口柵工配筋図より	232.0	kg
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.60 \times 2.60 \times 0.10$	= 0.676	0.68 m <sup>3</sup>
同上型枠		$2.60 \times 0.10 \times 4$	= 1.040	1.04 m <sup>2</sup>
基礎材	RC-40 t=200mm	$2.60 \times 2.60$	= 6.760	6.76 m <sup>2</sup>
足掛金具	B=300			7 個
床掘		$(5.80 \times 5.80 + 7.57 \times 7.57) \times 1/2 \times 1.77$	= 80.486	80.49 m <sup>3</sup>
埋戻		$80.486 - 2.40 \times 2.40 \times 1.47 - 2.60 \times 2.60 \times (0.10 + 0.20)$	= 69.991	69.99 m <sup>3</sup>
残土処理		$80.486 - 69.991 / 0.9$	= 2.718	2.72 m <sup>3</sup>
基面整正		$2.60 \times 2.60$	= 6.760	6.76 m <sup>2</sup>
足場工	枠組足場	$2.70 \times 4.60 \times 4$	= 49.680	49.68 掛m <sup>2</sup>
転落防止柵	H=1.1m	$(2.40 + 0.10 \times 2) \times 4$	= 10.400	10.40 m

吐口柵工 材料表

種別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	$2.50 \times 2.20 \times 0.20 + 1.70 \times 2.50 \times 1.20 - 1.50 \times 2.10 \times 1.00$ $- 1/4 \times 1.893 \times 1.674 \times \pi \times 0.20$ $- 0.80 \times 0.822 \times 0.20 - 0.32 \times 0.30 \times 0.20 \times 2$	= 2.382	2.38 m <sup>3</sup>
型枠	鉄筋構造物	$0.20 \times 2.20 \times 2 + 1.20 \times 1.70 \times 2 + 1.20 \times 2.50 \times 2.20 \times 2.50$ $+ 1.50 \times 1.00 \times 2 + 1.00 \times 2.10 - 1/4 \times 1.893 \times 1.674 \times \pi \times 2$ $- 0.80 \times 0.822 \times 2 - 0.32 \times 0.30 \times 2 \times 2$	= 11.883	11.88 m <sup>2</sup>
鉄筋	SD345 D16	吐口柵工配筋図より	190.0	kg
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.10 \times 2.70 \times 0.10$	= 0.567	0.57 m <sup>3</sup>
同上型枠		$(2.10 + 2.70) \times 0.10 \times 2$	= 0.960	0.96 m <sup>2</sup>
基礎材	RC-40 t=200mm	$2.10 \times 2.70$	= 5.670	5.67 m <sup>2</sup>
床掘		$(4.10 \times 3.50 + 5.46 \times 4.86) \times 1/2 \times 1.36$	= 27.802	27.80 m <sup>3</sup>
埋戻		$27.802 - 1.90 \times 2.50 \times 1.06 - 2.10 \times 2.70 \times (0.10 + 0.20)$	= 21.066	21.07 m <sup>3</sup>
残土処理		$27.802 - 21.066 / 0.9$	= 4.395	4.40 m <sup>3</sup>
基面整正		$2.10 \times 2.70$	= 5.670	5.67 m <sup>2</sup>
足場工	枠組足場	$2.20 \times 2.50$	= 5.500	5.50 掛m <sup>2</sup>

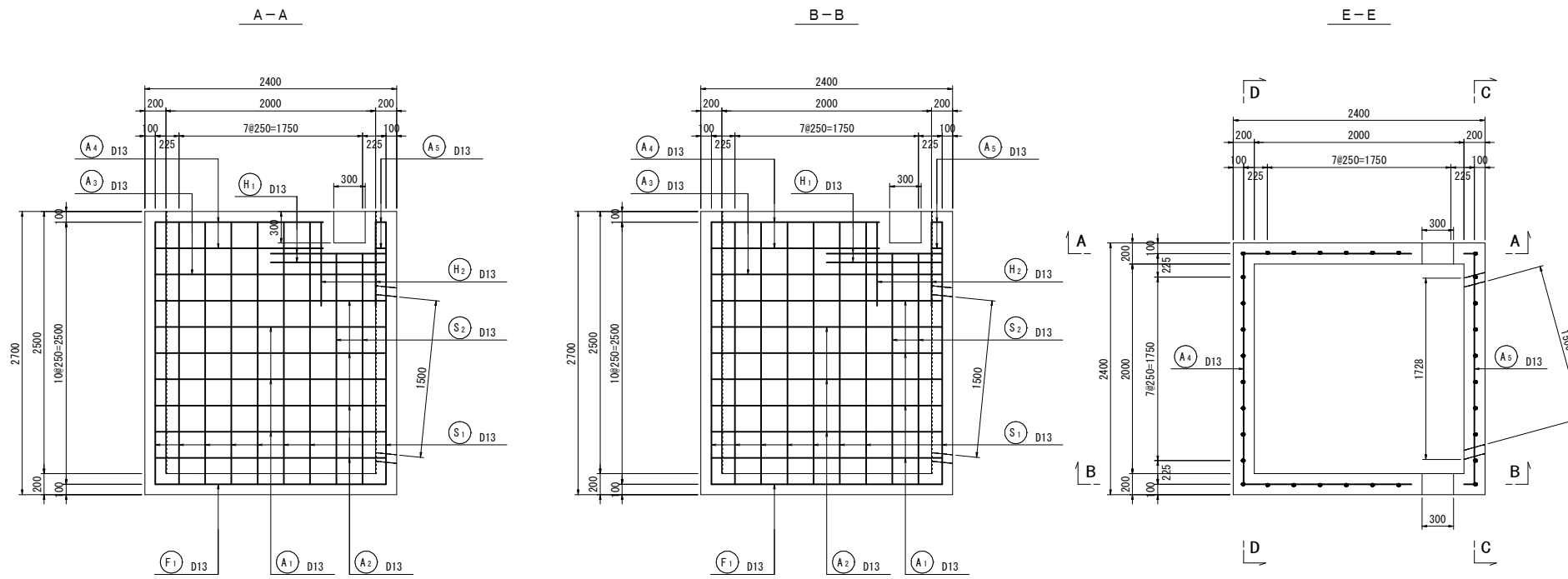
## 実施設計図

鹿兒島県	
工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R0-3区工)
河川名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第2号横断管渠工 (2/4)
縮尺	図示
図面番号	全 業 第 号

# 第2号横断管渠工 (3/4)

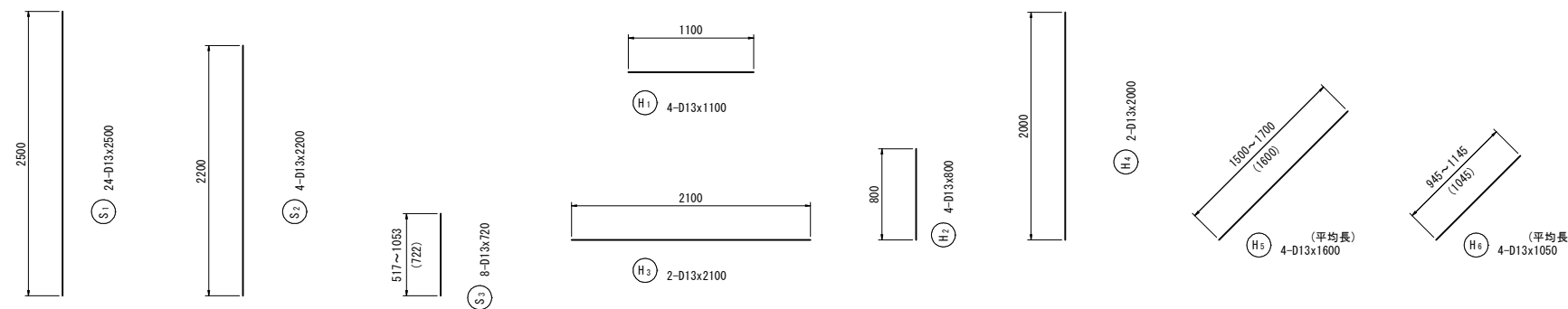
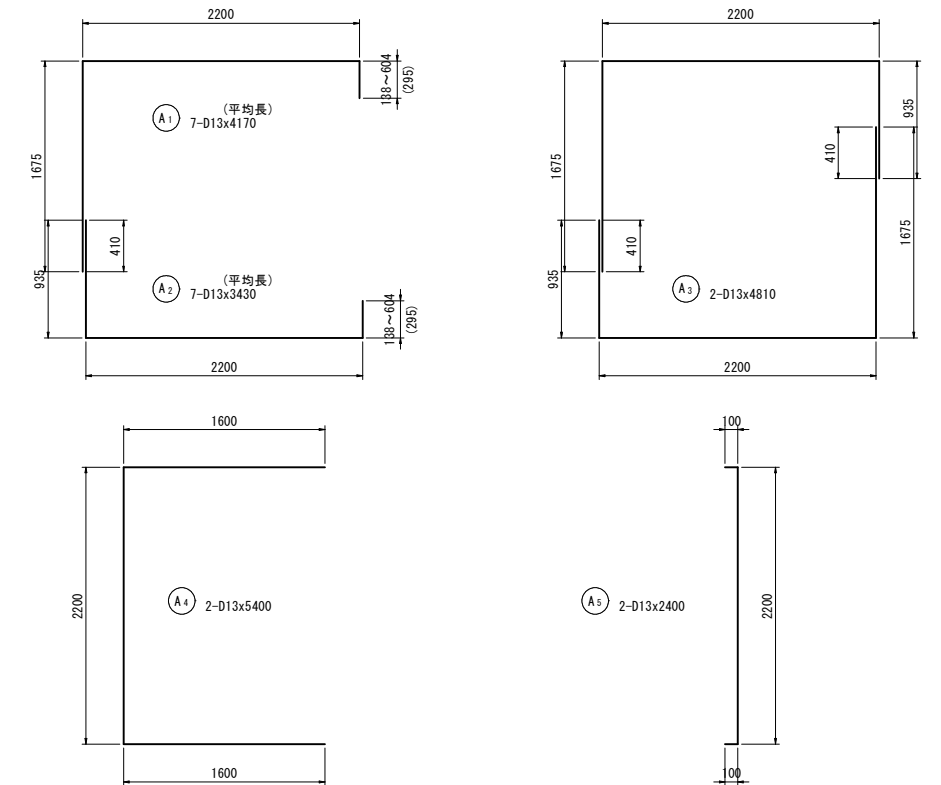
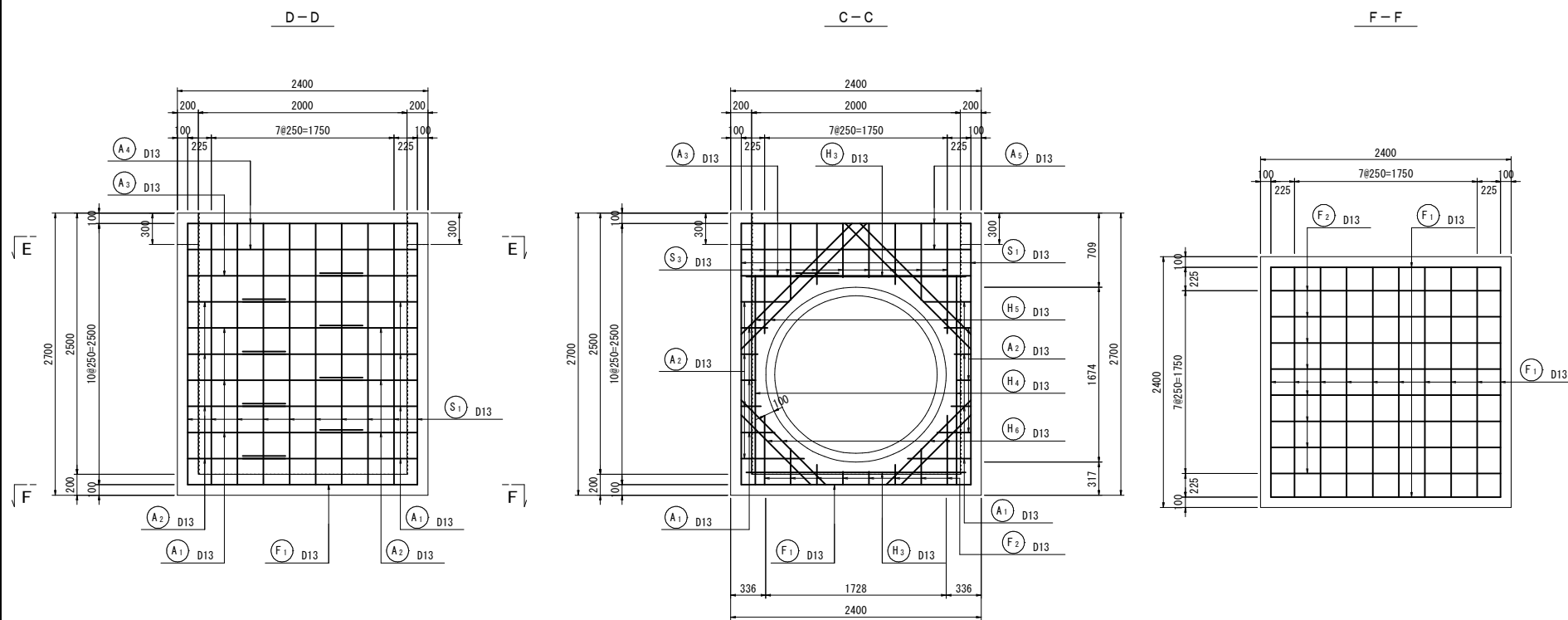
呑口柵工配筋図

S=1:30



鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A <sub>1</sub>	D13	4170	7	0.995	4.15	29	平均長
2	〃	3430	7	〃	3.41	24	平均長
3	〃	4810	2	〃	4.79	10	
4	〃	5400	2	〃	5.37	11	
5	〃	2400	2	〃	2.39	5	
							79 kg
S <sub>1</sub>	D13	2500	24	0.995	2.49	60	
2	〃	2200	4	〃	2.19	9	
3	〃	720	8	〃	0.72	6	
							75 kg
F <sub>1</sub>	D13	2600	12	0.995	2.59	31	
2	〃	2730	8	〃	2.72	22	平均長
							53 kg
H <sub>1</sub>	D13	1100	4	0.995	1.09	4	
2	〃	800	4	〃	0.80	3	
3	〃	2100	2	〃	2.09	4	
4	〃	2000	2	〃	1.99	4	
5	〃	1600	4	〃	1.59	6	平均長
6	〃	1050	4	〃	1.04	4	平均長
							25 kg
D13				232	kg		
合計				232	kg		



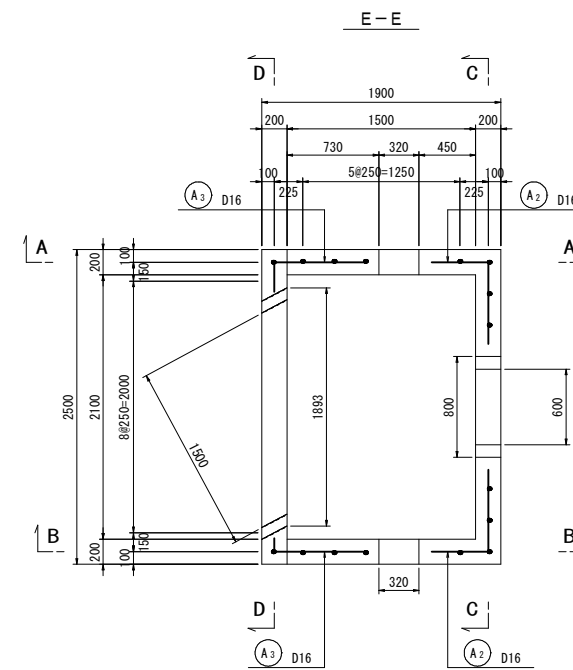
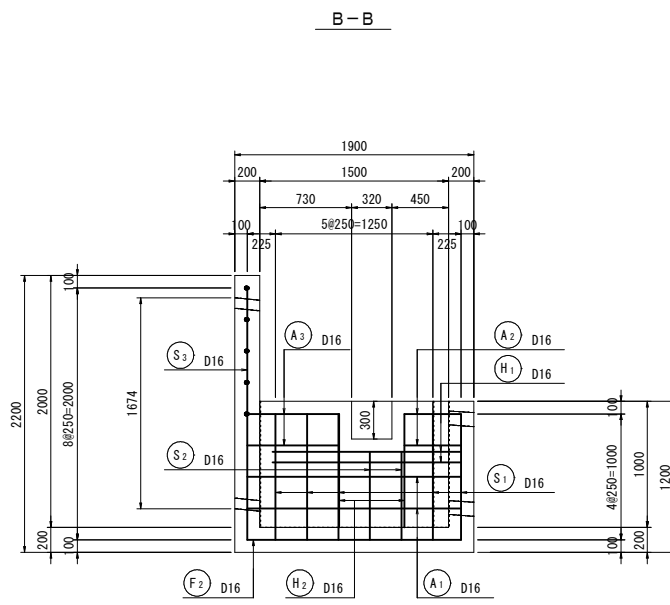
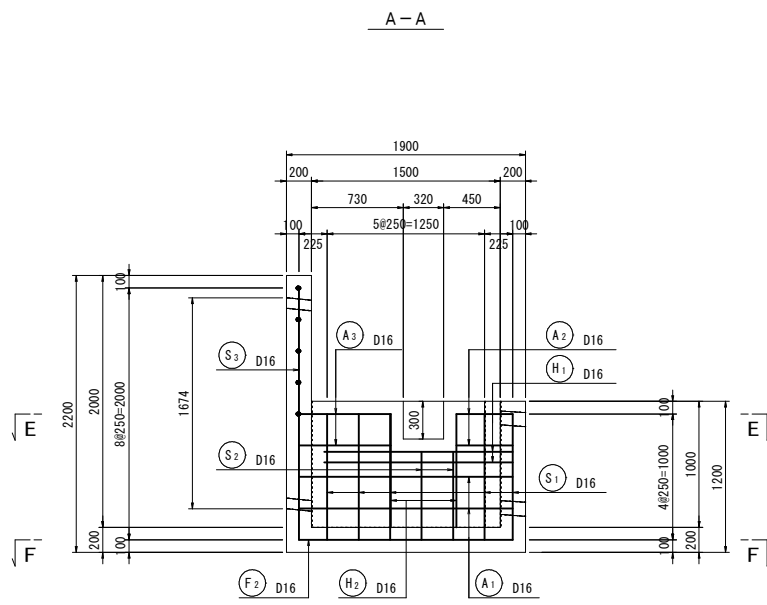
実施設計図

鹿兒島県	
工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R0-3工区)
河川名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第2号横断管渠工 (3/4)
縮尺	S=1:30
図面番号	全 業 第 号

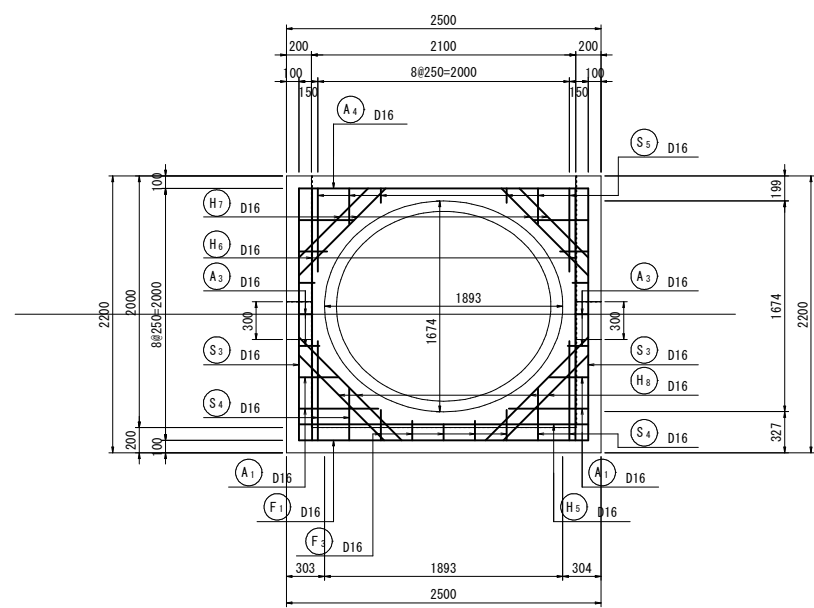
# 第2号横断管渠工 (4/4)

## 吐口柵配筋図

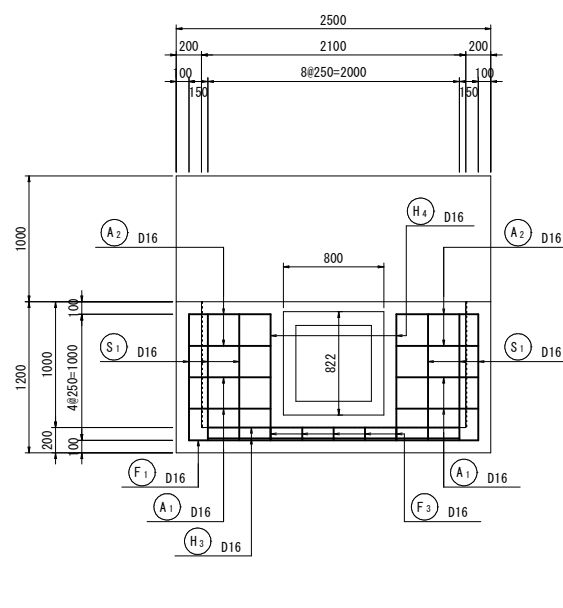
S=1:30



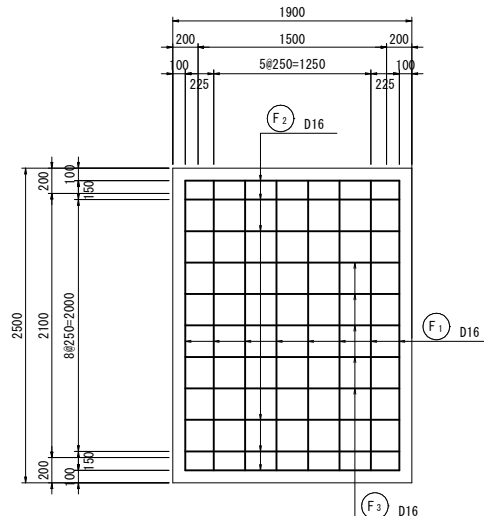
D-D



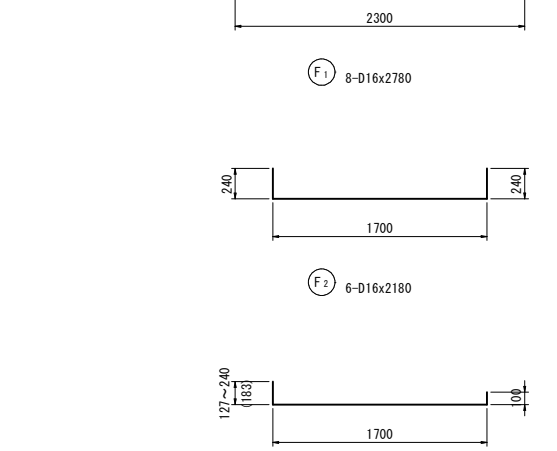
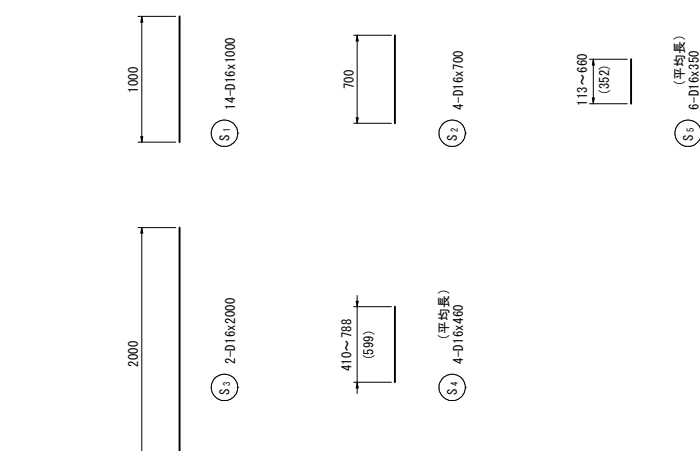
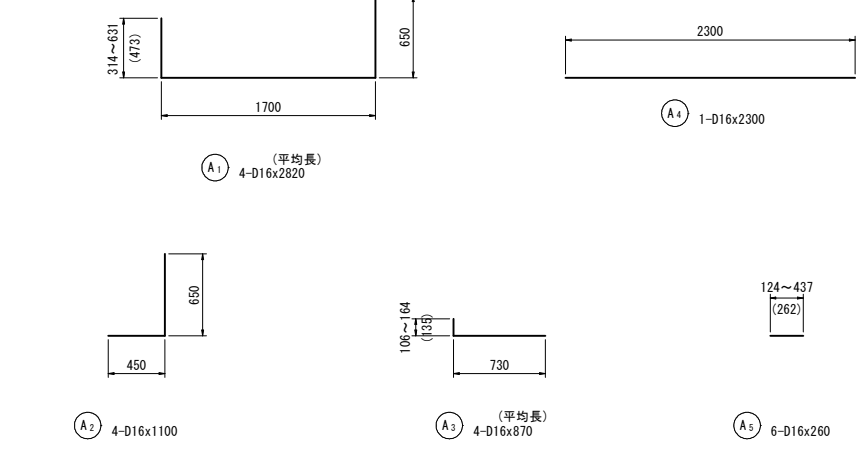
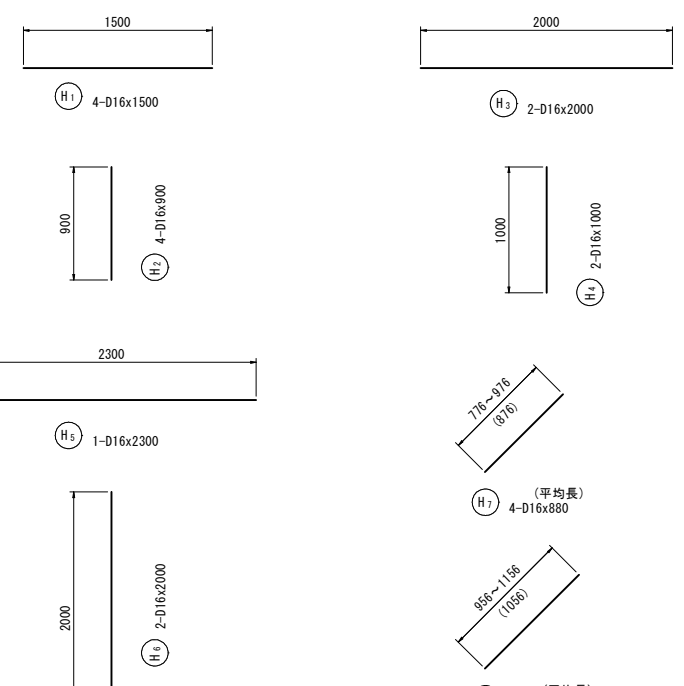
C-C



F-F



種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A 1	D16	2820	4	1.56	4.40	18	平均長
2	〃	1100	4	〃	1.72	7	〃
3	〃	870	4	〃	1.36	5	平均長
4	〃	2300	1	〃	3.59	4	〃
5	〃	260	6	〃	0.41	2	〃
36 kg							
S 1	D16	1000	14	1.56	1.56	22	〃
2	〃	700	4	〃	1.09	4	〃
3	〃	2000	2	〃	3.12	6	〃
4	〃	460	4	〃	0.72	3	平均長
5	〃	350	6	〃	0.55	3	平均長
38 kg							
F 1	D16	2780	8	1.56	4.34	35	〃
2	〃	2180	6	〃	3.40	20	〃
3	〃	1980	5	〃	3.09	15	平均長
70 kg							
H 1	D16	1500	4	1.56	2.34	9	〃
2	〃	900	4	〃	1.40	6	〃
3	〃	2000	2	〃	3.12	6	〃
4	〃	1000	2	〃	1.56	3	〃
5	〃	2300	1	〃	3.59	4	〃
6	〃	2000	2	〃	3.12	6	〃
7	〃	880	4	〃	1.37	5	平均長
8	〃	1060	4	〃	1.65	7	平均長
46 kg							
				D16	190	kg	
				合計	190	kg	



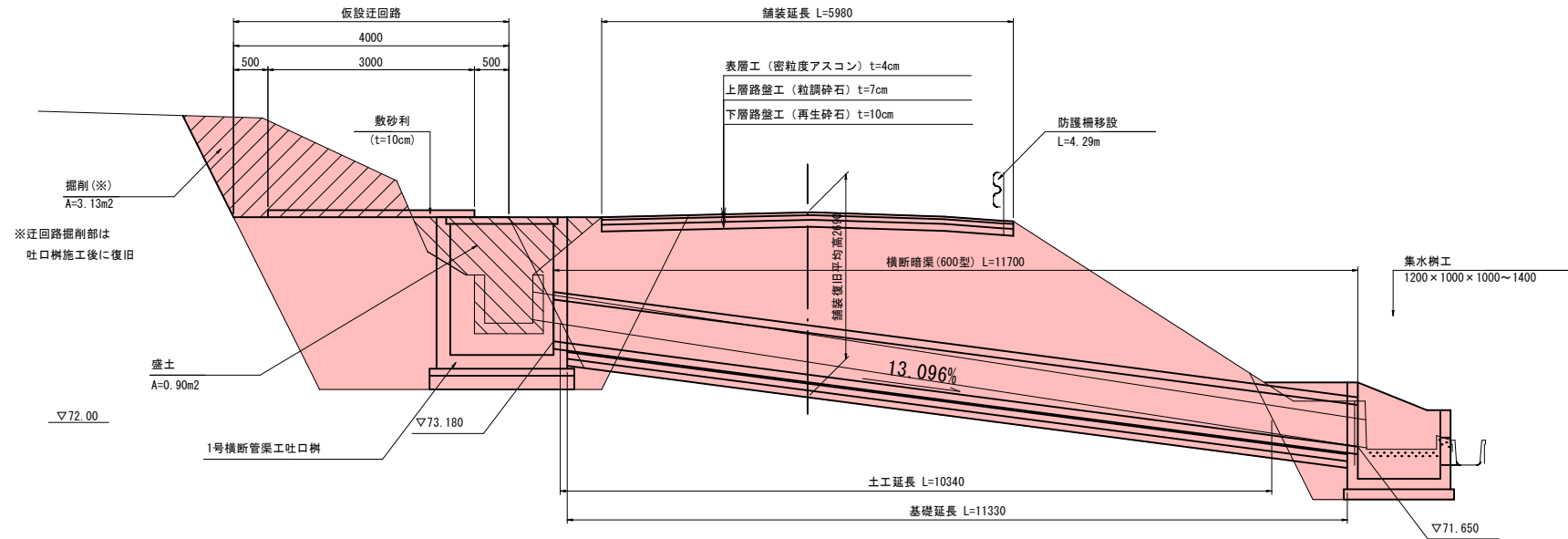
**実施設計図**

鹿 児 島 県	
工事名	道路改築工事 (阿久根高尾野道路R0-3工区)
河川路線名	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第2号横断管渠工 (4/4)
縮尺	S=1:30
図面番号	全 業 第 号

※地下水排水φ300の接続については  
施工の際に位置・配筋等を調整すること

# 第1号流末排水工 (1/2)

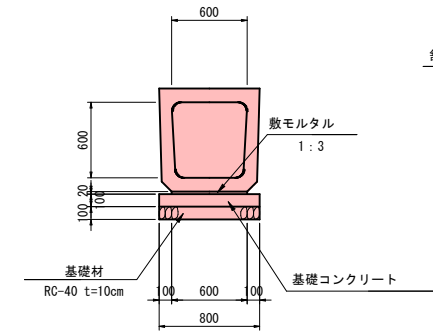
側面図 S=1:50



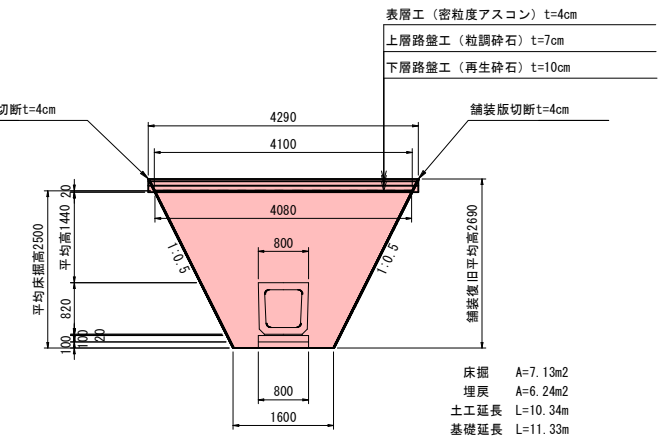
横断暗渠工構造図

(600型)

標準断面図 S=1:30



土工断面図 S=1:60



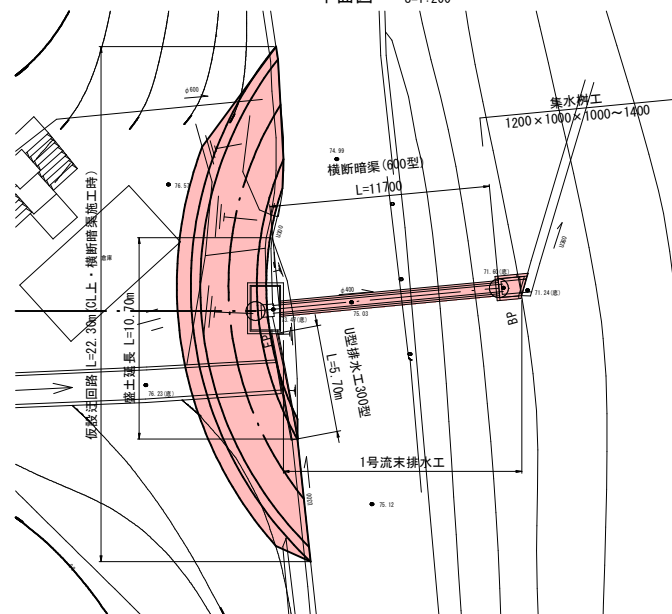
第1号流末排水工 数量表

名称	摘要	計算式	数量	単位
横断暗渠	600型		11.70	m
U型排水工	300型道路用		5.70	m
集水樹工	1200×1000×1000~1400		1.00	箇所
表層工	密粒度アスコンt=4cm	4.29×5.98	25.65	m <sup>2</sup>
上層路盤工	粒調砕石t=7cm	4.29×5.98	25.65	m <sup>2</sup>
下層路盤工	再生砕石t=10cm	4.29×5.98	25.65	m <sup>2</sup>
舗装版切断	アスファルトt=4cm	5.98×2	11.96	m
舗装版撤去	アスファルトt=4cm	4.29×5.98	25.65	m <sup>2</sup>
搬運機処理	As扱	25.65×0.04	1.03	m <sup>3</sup>
防護柵移設	ガードレール再利用		4.29	m
掘削	片切(仮設迂回路)	3.13×22.30	69.80	m <sup>3</sup>
盛土(仮設迂回路掘削部復旧)		3.13×22.30	69.80	m <sup>3</sup>
盛土		0.90×10.70	9.63	m <sup>3</sup>
不足土処理		(69.80+9.63)/0.9-69.80	18.46	m <sup>3</sup>
敷砂利	t=10cm(仮設迂回路)	3.00×22.30	66.90	m <sup>2</sup>

横断暗渠工 数量表

名称	摘要	計算式	数量	単位
横断暗渠	600型		11.70	m
敷モルタル	1:3	0.06×0.02×11.33	0.01	m <sup>3</sup>
基礎コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	0.80×0.10×11.33	0.91	m <sup>3</sup>
基礎型枠		0.10×11.33×2	2.27	m <sup>2</sup>
基礎材	RC-40 t=10cm	0.80×11.33	9.06	m <sup>2</sup>
床掘		7.13×10.34	73.72	m <sup>3</sup>
埋戻		6.24×10.34	64.52	m <sup>3</sup>
残土処理		73.72-64.52/0.9	2.03	m <sup>3</sup>
基面整正		0.80×11.33	9.06	m <sup>2</sup>

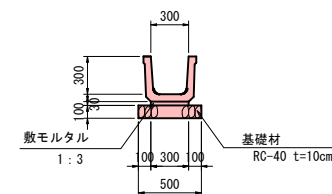
平面図 S=1:200



U型排水工構造図

(300型道路用)

S=1:30



U型側溝 道路用 (300×300) 材料表

工種	材料	計算式	数量	単位
側溝	道路用(300×300)	L=2000 W=180kg	10.00	m
基礎材	RC-40 t=10cm	0.50×10.00	= 5.00	5.00 m <sup>2</sup>
敷モルタル	1:3	0.03×0.30×10.00	= 0.09	0.10 m <sup>3</sup>

## 実施設計図

鹿児島県

工事名	道路改築工事(阿久根高尾野道路R0-3区工)
河川路線	国道504号 阿久根高尾野道路
工事箇所	出水市野田町上名地内
図面種類	第1号流末排水工(1/2)
縮尺	図示
図面番号	全 業 第 号